

令和7年度版

消 防 年 報



東松山消防署 高坂分署

比 企 広 域 消 防 本 部

(令和8年度刊行)

は し が き

この年報は、比企広域消防本部の現勢と消防諸般の基本的な統計を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実、育成に資するために編集いたしました。

内容については、原則として暦年をもって作成にあたり、消防現況については令和8年4月1日現在で作成いたしました。

この統計により、比企広域消防本部について一層のご理解を深められ防災体制確立に特段のご協力をお願い申し上げます。

令和8年8月

比 企 広 域 消 防 本 部

比企消防歌

保泉一生作詞
小山伸作曲

一、見よ秩父嶺の

山青く

みどりの風の

吹くところ

希望に燃ゆる

眉あげて

栄光ある郷土

護らんと

集う比企の

消防の

われらに高き

使命あり

二、すわ事あらば

いち早く

濁流渦を

巻くところ

紅蓮の炎

猛るなか

尊き生命

救わんと

進む比企の

消防の

われらに固き

決意あり

三、あゝ都幾川の

水清く

平和の虹の

立つところ

いらかの波も

ゆるぎなく

防災茲に

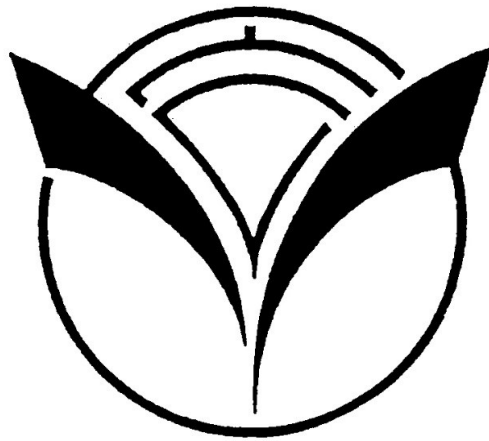
憂いなし

熱き比企の

消防の

われらに強き

備えあり



図柄説明

比企の比をのびゆく若葉にデザインしたもので中央に広域の広を配し、全体に比企広域市町村圏の発展を意味したものです。

目 次

沿 革

比企広域消防発足までの歩み	1
比企広域消防本部の歩み	4

総 務

管内情報	15
比企広域消防組織図	16
令和8年度構成市町村予算額	17
比企広域消防本部予算額	17
比企広域消防本部予算の構成市町村負担金	18
職員の配置状況	19
職員の勤続年数	20
職員の年齢	21
職員の教育実施状況	22
職員の特殊技能・各種資格状況	23
職員の居住地	24
消防庁舎等の現況	25

警 防

消防力の整備指針と現況	26
消防水利の状況	27
消火栓口径別調	27
主な特殊器具配置状況	28
比企広域消防本部保有車両一覧表	29
地震体験車運行状況	30
用途別運行状況	30
防災体験車運行状況	31
用途別運行状況	31

予 防

市町村別防火対象物一覧表	32
中高層防火対象物数	33
市町村別危険物施設の現況	34

指定数量別危険物製造所等施設数	35
防火管理者資格取得状況	36
住宅防火モデル地区	36
幼年消防クラブ	36

火 災

市町村別火災発生件数	37
月別火災概要（管内総計）	38
市町村月別火災概要	39
出火原因別火災件数	43
令和 7 年の主な火災	43

救急・救助

月別救急件数	44
市町村別救急出動件数	45
救急隊員の行った応急処置状況	46
傷病程度別搬送人員	46
年齢・区分別搬送人員	46
時間別出動件数	47
曜日別出動件数	47
病院別搬送人員	48
関越自動車道救急出動状況	49
事故種別出動件数及び救助人員	49
事故種別発生場所別救助人員	49
救命講習実施状況	50

通信・気象

消防通信系統図	54
消防用無線施設の状況	55
119 番受信状況	56
NET119 緊急通報システム受信状況（埼玉西部地域消防指令センター）	57
関越自動車道専用受信状況	58
緊急通報システム受信状況	58
管内市町村別緊急通報システム登録者数	58
受信別状況（119 番通報を除く）	59
気象の注意報・警報の受理状況	59

消 防 団

比企広域市町村圏組合消防団の沿革	60
消防団員配置状況	70
消防団員勤続年数	72
消防団員の年齢	74
消防団員年齢構成	75
基本消防団員と機能別消防団員の定数と実数	76
消防団車庫所在地	77
消防団保有車両一覧表	79

沿 革

比企広域消防本部イメージキャラクター

ひきまる



比企広域消防発足までの歩み

1 東松山市消防本部の主な沿革

昭和40年	
4月	東松山市消防本部及び署が設立され、消防長に市長中里勇吉氏が就任し、消防職員14名、消防ポンプ自動車1台をもって発足した。
昭和43年	
3月	救急車（A型）を購入、救急業務を開始した。また、消防力の強化を図るため化学消防ポンプ自動車を購入配備した。

2 東松山地区消防組合の主な沿革

昭和47年	
10月	東松山市、吉見村、滑川村は、消防事務を共同処理することに合意し、規約（議決）により、名称を東松山地区消防組合と定め、消防一部事務組合を設立し、組合管理者に東松山市長中里勇吉氏が就任する。
昭和48年	
4月	東松山地区消防組合消防本部及び東松山消防署を設置し消防長に岡田義三氏が任命され職員総数55名をもって業務を開始した。 高坂出張所完成（鉄筋コンクリート造2階建一部3階、延べ面積297.75㎡）職員12名、水槽付消防ポンプ自動車1台、予備車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。
昭和49年	
7月	吉見出張所完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積350.68㎡）職員16名、水槽付消防ポンプ自動車1台、予備車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。
8月	組合管理者に、東松山市長芝崎亨氏が就任する。
11月	吉見出張所に救急車1台を配備した。

昭和 5 0 年	
1 月	滑川出張所完成（鉄筋コンクリート造 2 階建、延べ面積 373. 00 m ² ） 職員 1 7 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台をそれぞれ配備、 業務を開始した。
8 月	関越高速自動車道供用開始に伴い、滑川出張所救急業務を開始した。
昭和 5 5 年	
1 0 月	東松山地区消防組合消防本部及び東松山消防署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造 2 階建、延べ面積 1, 554. 10 m ² ）業務を開始。同時に北分遣所の業務を開始した。
昭和 6 1 年	
1 月	組織等の改正により「吉見出張所」・「滑川出張所」を「吉見分署」「滑川分署」に改めた。
平成元年	
4 月	松山北分署完成（鉄筋コンクリート造 2 階建、延べ面積 509. 04 m ² ） 職員 1 0 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台をそれぞれ配備、 業務を開始した。
平成 4 年	
3 月	高坂分署完成（鉄筋コンクリート造 2 階建、延べ面積 604. 71 m ² ） 職員 1 0 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台をそれぞれ配備、 業務を開始した。

3 小川地区消防組合の主な沿革

昭和 4 6 年	
4 月	小川町、嵐山町、玉川村、都幾川村及び東秩父村の 2 町 3 村は消防事務について共同処理することに合意し、組合規約により、名称を小川地区消防組合と定め消防の一部事務組合を設立した。組合管理者に小川町長田口勘造氏が就任する。 小川地区消防組合消防本部及び小川消防署を設置し派遣職員 2 名、採用職員 2 7 名、消防ポンプ自動車 1 台、消防指令車 1 台をもって業務を開始した。
8 月	小川消防署に水槽付消防ポンプ自動車 1 台を配備した。

昭和47年

4月 小川地区消防組合消防本部及び小川消防署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積741.90㎡）職員58名、救急車1台を購入配備した。第1分署完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積296.00㎡）職員13名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。

昭和48年

4月 第2分署完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積301.80㎡）職員13名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。

昭和49年

5月 第3分署完成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ面積247.34㎡）職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台をそれぞれ配備、業務を開始した。

昭和57年

6月 組合管理者に、小川町長松本繁夫氏が就任する。

4 比企広域消防本部が設立されるまでの沿革

平成2年

2月 比企広域消防の設立を推進するため、専門委員会を設置した。

平成3年

3月 東松山地区消防組合消防本部内に比企広域消防準備室を設置し職員5名（東松山地区3名、小川地区2名）配置した。

12月 構成市町村議会において、統合関係議案が議決された。

平成4年

2月 比企広域市町村圏組合議会において消防関係条例等の議決がなされ統合事務が終了した。

比企広域消防本部の歩み

平成4年

- 4月 1日 東松山地区消防組合と小川地区消防組合は、比企広域市町村圏組合において消防事務を共同処理することに合意し、名称を比企広域消防本部と定め、管理者に東松山市長芝崎亨氏が就任する。
- 〃 比企広域消防本部は、1市4町3村（東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、都幾川村、玉川村、吉見町、東秩父村）で発足。組織1本部（3課）、2消防署、7分署の体制で業務を開始した。
- 〃 初代消防長（比企広域市町村圏組合事務局長兼務）に八木原昇一氏が就任する。
- 〃 新規採用17名、職員総数205名となる。
- 8月18日 連絡車（トヨタ ハイエースワゴンカスタム）を購入し、小川消防署に配備した。
- 12月21日 化学消防自動車Ⅱ型（三菱）を購入し、東松山消防署に更新配備した。

平成5年

- 2月 5日 指揮車（日産 キャラバン）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月31日 4年度内中途採用1名、退職者1名、職員総数205名となる。
- 4月 1日 新規採用5名、比企広域市町村圏組合事務局より職員3名補充、職員総数213名となる。
- 6月 1日 比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、職員総数212名となる。
- 12月22日 水槽付消防ポンプ自動車及び移動無線機10Wを購入し、東秩父分署に更新配備した。

平成6年

- 3月23日 消防緊急通信指令施設Ⅱ型及び自動出動編成、地図検索、情報交換等をコンピュータ処理できるよう整備し、運用開始した。
- 3月31日 5年度内退職者3名、職員総数209名となる。
- 4月 1日 新規採用11名、職員総数220名となる。
- 7月20日 連絡車（日産 ADバン）を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 8月 4日 指令車（トヨタ カルディナ）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 8月 5日 比企広域市町村圏組合管理者に、東松山市長坂本祐之輔氏が就任する。

平成7年

- 2月10日 救急車（ⅡB型）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 2月28日 救急車（高規格）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月28日 水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を購入し、松山北分署に更新配備した。
- 3月31日 6年度内退職者5名、職員総数215名となる。
- 4月 1日 新規採用12名、比企広域市町村圏組合事務局より1名補充、職員総数228名となる。
- 〃 比企広域市町村圏組合職員定数条例の一部を改正する。
（消防職員定数245名に改める）
- 〃 第2代消防長に岡部英雄氏が就任する。

平成 7 年	
6 月 1 6 日	連絡車（トヨタ カムリ Z X）を東松山危険物防火安全協会より寄贈を受ける。
7 月 2 1 日	査察車（トヨタ マーク II バン）を購入し、消防本部予防課に更新配備した。
1 0 月 2 3 日	連絡車（トヨタ コロナ）を小川地区防火安全協会より寄贈を受ける。
1 1 月 8 日	2 3 時 3 0 分頃吉見町大字下細谷 9 5 0 番地 2 号、東洋製罐株式会社埼玉工場の高さ 30.9m、延べ面積 4,154 m ² のラック式自動倉庫から発生した火災において、翌日未明、消火活動中の職員 2 名殉職、消火協力者 1 名死亡する。 殉職者 消防司令長 新井伸夫（4 3 歳） 消 防 士 長 高橋 通（2 2 歳） 消火協力者 可児慎治氏（2 7 歳）
1 2 月 2 0 日	東松山市中央公民館において、殉職者 2 名の消防葬が執行された。
1 2 月 2 2 日	救助工作車（II 型）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
平成 8 年	
1 月 3 1 日	救急車（II B 型 4 WD）2 台購入し、吉見分署・都幾川分署に更新配備した。
3 月 3 1 日	7 年度内退職者等 4 名（内殉職者 2 名・出向者 1 名）、職員総数 2 2 4 名となる。
4 月 1 日	新規採用 1 2 名、職員総数 2 3 6 名となる。
〃	比企広域消防本部の組織等に関する規則の一部を改正する。 （予防課に調査指導係を置き 3 係とした）
6 月 2 4 日	連絡車（トヨタ カルディナ）を購入し、吉見分署に更新配備した。
7 月 3 0 日	連絡車（日産 セレナ）を購入し、消防本部管理課に配備した。
1 1 月 6 日	比企広域市町村圏組合消防慰霊祭が執行された。
平成 9 年	
1 月 2 0 日	救急車（高規格）を購入し、小川消防署に更新配備した。
2 月 7 日	救急車（II B 型）を購入し、滑川分署に更新配備した。
3 月 3 1 日	8 年度内退職者 1 名、職員総数 2 3 5 名となる。
4 月 1 日	新規採用 6 名、職員総数 2 4 1 名となる。
〃	埼玉県へ職員 1 名出向、職員総数 2 4 0 名となる。
5 月 2 7 日	連絡車（トヨタ カローラ）を購入し、消防本部管理課に配備した。
6 月 9 日	指令車（三菱 ギャラン）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
〃	連絡車（日産 AD バン）を購入し、滑川分署に更新配備した。
1 1 月 6 日	比企広域市町村圏組合消防慰霊祭が執行された。
平成 1 0 年	
3 月 3 1 日	9 年度内退職者 2 名、職員総数 2 3 8 名となる。
4 月 1 日	比企広域市町村圏組合職員定数条例の一部を改正する。 （消防職員定数 2 5 5 名に改める）
〃	新規採用 4 名、職員総数 2 4 2 名となる。
4 月 1 日	埼玉県内における携帯電話 1 1 9 番通報受信・転送業務を開始した。
6 月 1 8 日	保安車（三菱 レグナム）を購入し、消防本部予防課に配備した。

平成10年		
11月	4日	比企広域市町村圏組合消防慰霊祭が執行された。
平成11年		
3月	31日	10年度内退職者1名、職員総数241名となる。
4月	1日	嵐山分署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨造6階建、延べ面積1,200.70㎡）職員20名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。
	〃	新規採用6名、職員総数247名となる。
10月	28日	地震体験車を購入し、嵐山分署に配置した。
11月	30日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
平成12年		
3月	21日	救急車（高規格）を財団法人日本損害保険協会より寄贈を受け、嵐山分署に更新配備した。
3月	23日	調査車（三菱 レグナム）を購入し、消防本部予防課に更新配備した。
3月	31日	指揮車（トヨタ ハイエース）を購入し、小川消防署に更新配備した。
	〃	11年度内退職者6名、職員総数241名となる。
4月	1日	職員1名の派遣を解き、新規採用7名、職員総数249名となる。
	〃	第3代消防長に関根敏正氏が就任する。
	〃	比企広域消防本部の組織等に関する規則の一部を改正する。 （警防課指令係を指令課に改め4課とした） （警防課に研修・施設係を置き2係とした）
5月	18日	マイクロ（日産 キャラバン 15人乗り）を東松山危険物防火安全協会より寄贈を受ける。
7月	19日	資機材搬送車（三菱 キャンター）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
7月	25日	救急車（高規格）を購入し、松山北分署に更新配備した。
11月	20日	指令課の地図検索システムを更新した。
12月	20日	水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を購入し、吉見分署に更新配備した。
	〃	救急車（II B型）を購入し、高坂分署に更新配備した。
平成13年		
3月	31日	12年度内退職者3名、職員総数246名となる。
4月	1日	職員1名の派遣を解き、新規採用5名、職員総数252名となる。
8月	7日	連絡車（三菱 ミニキャブバン）を購入し、松山北分署に更新配備した。
10月	1日	吉見分署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨造6階建、延べ面積1,529.84㎡）職員20名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。
平成14年		
1月	30日	水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付-II型）を購入し、小川消防署に更新配備した。
3月	31日	13年度内退職者4名、職員総数248名となる。
4月	1日	新規採用5名、職員総数253名となる。

平成14年

- 5月22日 比企広域消防本部設立10周年式典及び幼年消防クラブ発足式が東松山中央公民館にて挙行された。
- 8月8日 指揮車（トヨタ ランドクルーザー）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 9月1日 比企広域消防本部ホームページを開設、IT情報サービスを開始する。

平成15年

- 1月20日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、高坂分署に更新配備した。
- 3月20日 消防本部庁舎の一部149.65㎡を増築し、延べ面積2,471.16㎡となる。
- 3月31日 14年度内退職者2名、職員総数251名となる。
- 4月1日 新規採用4名、職員総数255名となる。
- 11月7日 第6回全国消防広報コンクール「ホームページ部門」において最優秀賞を受賞する。

平成16年

- 2月19日 化学消防ポンプ自動車（災害対応特殊化学Ⅱ型）を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 2月28日 比企広域消防音楽隊設立30周年記念演奏会が東松山市松山市民活動センターにて開催される。
- 3月31日 15年度内退職者6名、職員総数249名となる。
- 4月1日 新規採用4名、職員総数253名となる。
- 〃 第4代消防長に安野泰治氏が就任する。
- 8月20日 小川消防署ときたま分署庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建一部4階建、延べ面積999.90㎡）職員20名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。
- 9月1日 八都県市合同防災訓練（埼玉県会場）が、東松山市大字正代地内にて実施される。
- 9月24日 連絡車2台（日産 ADバン）を購入し、嵐山分署及びときたま分署に更新配備した。
- 11月19日 第7回全国消防広報コンクール「ホームページ部門」において最優秀賞に選ばれ、2年連続の受賞となる。

平成17年

- 1月24日 救急車（災害対応特殊高規格）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 2月28日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、ときたま分署に更新配備した。
- 3月31日 16年度内退職者4名、職員総数249名となる。
- 4月1日 新規採用6名、職員総数255名となる。
- 〃 比企広域市町村圏組合職員定数条例の一部を改正する。
（消防職員定数270名に改める）
- 〃 第5代消防長に須藤勇氏が就任する。

平成18年

- 2月 1日 都幾川村と玉川村が合併し「ときがわ町」となる。
- 2月 2日 救急車（高規格）を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 2月20日 調査車（日産 キャラバン）を購入し、東松山消防署に配備した。
- 3月31日 17年度内退職者5名、職員総数250名となる。
- 4月 1日 比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、新規採用8名、職員総数257名となる。
- 〃 比企広域市町村圏組合消防署の組織等に関する規程などの一部を改正する。
（両消防署の当直組織を2課制とし、火災調査や立入検査等の事務分掌を改正した）
- 〃 都幾川村と玉川村の合併に伴い小川消防署ときたま分署を小川消防署ときがわ分署に改称する。
- 10月 7日 庁用車（日産 ティアナ）を購入し、消防本部管理課に更新配備した。
- 11月22日 水槽車（小型動力ポンプ付 9t）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 12月26日 水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を購入し、滑川分署に更新配備した。

平成19年

- 1月 5日 水槽車（小型動力ポンプ付 5t）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 2月22日 救急車（高規格）を購入し、ときがわ分署に更新配備した。
- 1月24日 消防本部用地総合整備事業が2か年計画により完了した。
（敷地面積 17,532.36 m²）
- 3月30日 支援車（Ⅲ型）を新規導入し、消防本部警防課へ配備した。
- 3月31日 18年度内退職者6名、職員総数251名となる。
- 4月 1日 新規採用8名、職員総数259名となる。
- 11月 9日 第10回全国消防広報コンクール「ホームページ部門」において最優秀賞に選ばれ、3度目の受賞となる。

平成20年

- 3月13日 救急車（高規格）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月14日 救急車（高規格）を購入し、滑川分署に更新配備した。
- 3月31日 19年度内退職者8名、職員総数251名となる。
- 〃 消防緊急通信指令施設改修工事2か年計画中、19年度分を完了する。
- 4月 1日 職員2名の出向を解き、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、新規採用9名、職員総数261名となる。
- 6月25日 連絡車（三菱 ランサーカーゴ）を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 7月22日 指令車（トヨタ カローラ）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 7月31日 消防本部に防災車庫棟（鉄骨造2階建、延べ面積200.0 m²）が完成した。
- 11月17日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、東秩父分署に更新配備した。
- 12月10日 消防ポンプ自動車（CDⅠ型）を購入し、小川消防署に更新配備した。

平成21年

- 3月 6日 救急車（高規格）を購入し、東秩父分署に更新配備した。
- 〃 連絡車（日産 セレナ）を購入し、消防本部管理課に更新配備した。
- 3月 9日 救助工作車（Ⅱ型）を購入し、小川消防署に更新配備した。

平成21年

- 3月12日 消防緊急通信指令施設改修工事2か年計画が完了した。
- 3月31日 20年度内退職者9名、職員総数252名となる。
- 4月 1日 埼玉県へ職員1名派遣、職員1名出向、新規採用12名、職員総数263名となる。
- 7月22日 連絡車（ホンダ パートナー）を購入し、滑川分署に更新配備した。
- 9月 2日 指令車（トヨタ カローラ）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 11月25日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、松山北分署に更新配備した。

平成22年

- 3月 2日 はしご車（30m級）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月 5日 消防庁長官表彰にて、表彰旗を受章する。
- 3月17日 マイクロ（トヨタ ハイエース 15人乗り）を購入し、消防本部管理課に更新配備した。
- 3月19日 連絡車2台（日産 ティーダ）を購入し、消防本部管理課及び小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 21年度内退職者12名、職員総数251名となる。
- 4月 1日 職員1名の出向を解き、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、新規採用14名、職員総数265名となる。
- 〃 第6代消防長に小林敏扶氏が就任する。
- 7月 2日 比企地区危険物防火安全協会設立5周年記念式典が開催される。
- 8月 5日 比企広域市町村圏組合管理者に、東松山市長森田光一氏が就任する。

平成23年

- 2月25日 救急車（災害対応特殊高規格）を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 3月 1日 救急車（高規格）を購入し、高坂分署に更新配備した。
- 3月11日 東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊を岩手県陸前高田市に計6隊18名、福島県本宮市に計8隊24名を派遣する。
- 3月13日 救助工作車（Ⅱ型）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月16日 連絡車（トヨタ ハイエース 10人乗り）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 22年度内退職者14名、職員総数251名となる。
- 4月 1日 職員2名の派遣を解き、埼玉県へ職員2名派遣、新規採用13名、職員総数265名となる。
- 〃 第7代消防長に内田公生氏が就任する。

平成24年

- 2月28日 化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月17日 救急車（高規格）を購入し、松山北分署に更新配備した。
- 3月21日 保安車（トヨタ カローラ）を購入し、消防本部予防課に更新配備した。
- 3月31日 23年度内退職者14名、職員総数251名となる。
- 4月 1日 職員1名の出向を解き、東松山市へ職員1名派遣、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、新規採用14名、職員総数265名となる。
- 〃 第8代消防長に旭修三郎氏が就任する。

平成24年

- 6月9日 比企広域消防本部設立20周年記念式典が松山市民活動センターにて挙行された。
- 6月26日 連絡車（トヨタ プリウス）を購入し、消防本部警防課に更新配備した。
- 10月10日 小川消防署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨造2階、延べ面積2,660.11㎡）職員42名、指令車1台、指揮車1台、資機材搬送車1台、救助工作車1台、連絡車2台、はしご車1台、水槽車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急車1台、調査車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。

平成25年

- 3月31日 24年度内退職者17名、職員総数248名となる。
- 4月1日 職員1名の派遣を解き、総務省へ職員1名派遣、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用15名、職員総数263名となる。
- 〃 第9代消防長に須長信夫氏が就任する。
- 11月25日 消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東松山消防署に更新配備した。

平成26年

- 2月28日 はしご車（屈折20m級）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 25年度内退職者9名、職員総数254名となる。
消防救急デジタル無線設備設置工事2か年計画で25年度分を完了する。
- 4月1日 職員3名の派遣並びに出向を解き、埼玉県へ職員1名派遣、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名を出向、新規採用12名、職員総数266名となる。
- 9月17日 資機材搬送車（日野 デュトロ）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 9月19日 防災体験車を購入し、消防本部警防課へ配備した。
- 12月24日 救急車（高規格）を購入し、東松山消防署に更新配備した。

平成27年

- 1月20日 査察車（ホンダ フィット）を購入し、消防本部予防課に更新配備した。
- 2月17日 消防救急デジタル無線設備設置工事2か年計画が完了し、運用を開始した。
- 2月25日 地震体験車を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 3月9日 消防緊急指令施設の表示パネル（車両運用表示盤・支援情報表示盤・多目的情報表示盤・映像制御装置）を更新し、運用を開始した。
- 3月13日 指揮車（トヨタ ハイエース）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 26年度内退職者13名、職員総数253名となる。
- 4月1日 職員2名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用13名、職員総数266名となる。
- 7月1日 滑川分署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建一部6階建、延べ面積1,219.66㎡）職員20名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。

平成28年

- 3月 4日 消防緊急指令施設（指令装置・表示盤・指令伝送装置・災害状況等自動案内装置・音声合成装置・システム監視装置・統合型位置情報通知システム・監視カメラ装置運用）を更新し、運用を開始した。
- 3月 9日 救急車（高規格）を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 3月18日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、吉見分署に更新配備した。
- 3月31日 27年度内退職者10名、職員総数256名となる。
- 4月 1日 職員1名の出向を解き、新規採用13名、職員総数270名となる。
- 〃 比企広域市町村圏組合消防署の組織等に関する規程などの一部を改正する。
（東松山消防署及び小川消防署に消防課を設置する）

平成29年

- 1月19日 消防緊急指令施設のディスプレイ（車両表示端末装置・出退表示入力端末装置・指令情報受信装置）を更新し、運用を開始した。
- 3月11日 救急車（災害対応特殊高規格）を購入し、ときがわ分署に更新配備した。
- 3月15日 指揮車（トヨタ ハイエース）を購入し、東松山消防署に更新配備した。
- 3月21日 救急車（高規格）を購入し、滑川分署に更新配備した。
- 3月24日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月31日 28年度内退職者13名、職員総数257名となる。
- 4月 1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用12名、職員総数269名となる。
- 〃 第10代消防長に吉野勝巳氏が就任する。

平成30年

- 2月19日 救急車（高規格）を購入し、小川消防署に更新配備した。
- 3月 6日 東秩父分署新庁舎完成（鉄骨造2階建、延べ面積462.71㎡）職員11名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、連絡車1台をそれぞれ配備し、業務を開始した。
- 3月31日 29年度内退職者9名、職員総数260名となる。
- 4月 1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、新規採用8名、職員総数267名となる。
- 〃 第11代消防長に小林明雄氏が就任する。
- 12月25日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、高坂分署に更新配備した。

平成31年

- 2月 8日 救急車（高規格）を購入し、嵐山分署に更新配備した。
- 3月31日 30年度内退職者1名、職員総数266名となる。
- 4月 1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用3名、職員総数269名となる。
- 〃 比企広域市町村圏組合職員定数条例の一部を改正する。
（消防職員定数286名に改める）

令和元年

12月11日 松山北分署庁舎の大規模改修工事が完了した。

令和2年

1月15日 救急車（高規格）を購入し、松山北分署に更新配備した。

1月21日 化学消防ポンプ自動車（災害対応特殊化学Ⅱ型）を購入し、嵐山分署に更新配備した。

3月31日 元年度内退職者3名、職員総数266名となる。

4月1日 職員1名の出向を解き、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、新規採用7名、職員総数273名となる。

7月15日 無人航空機2機（ドローン DJI Mavic 2）を購入し、東松山消防署と小川消防署に配備し、運用を開始する。

9月11日 連絡車（トヨタ ピクシスメガ）を購入し、ときがわ分署に更新配備した。

10月1日 指令課Net119緊急通報システムを導入し、運用を開始する。

12月16日 救急車（高規格）を購入し、東松山消防署に更新配備した。

令和3年

2月3日 救急車（高規格）を購入し、高坂分署に更新配備した。

3月31日 2年度内退職者7名、職員総数266名となる。

4月1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用6名、職員総数272名となる。

5月1日 埼玉西部消防組合、坂戸・鶴ヶ島消防組合、比企広域市町村圏組合及び西入間広域消防組合は、消防指令業務を共同処理するため、埼玉西部地域消防指令事務協議会を設置する。

〃 埼玉西部地域消防指令事務協議会へ職員1名派遣する。

令和4年

1月27日 救急車（災害対応特殊高規格）を購入し、東秩父分署に更新配備した。

2月17日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、ときがわ分署に更新配備した。

3月18日 滑川分署の女性施設改修工事が完了した。

3月31日 3年度内退職者6名、職員総数266名となる。

4月1日 職員1名の派遣を解き、埼玉県へ職員1名派遣、新規採用8名、職員総数273名となる。

〃 第12代消防長に長嶋悟氏が就任する。

〃 女性消防職員として、全国初のドローン運用アドバイザーに職員1名が認定された。

6月23日 比企広域消防本部設立30周年記念式典が国立女性教育会館にて举行された。

12月6日 水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊水槽付Ⅱ型）を購入し、滑川分署に更新配備した。

令和5年

2月24日 連絡車2台（トヨタ ピクシスメガ）を購入し、松山北分署及び嵐山分署に更新配備した。

令和5年		
3月31日	4年度内退職者4名、職員総数269名となる。	
4月1日	職員3名の派遣並びに出向を解き、埼玉県へ職員2名派遣、埼玉西部地域消防指令事務協議会へ職員1名派遣、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、新規採用7名、職員総数276名となる。	
令和6年		
2月5日	救急車（高規格）を購入し、滑川分署に配備した。	
2月6日	東松山消防署に救急車（旧滑川救急）1台を配備し、救急車2台での運用を開始する。	
2月21日	連絡車（トヨタ ノア）を購入し、消防本部管理課に更新配備した。	
2月26日	資機材搬送車（日野 デュトロ）を購入し、小川消防署に更新配備した。	
3月29日	連絡車（スズキ ジムニー）を購入し、東秩父分署に更新配置した。	
3月31日	5年度内退職者4名、職員総数272名となる。	
4月1日	職員1名の派遣を解き、埼玉西部地域消防指令事務協議会へ職員6名派遣し、新規採用6名、職員総数279名となる。	
〃	第13代消防長に服部明氏が就任する。	
〃	埼玉西部地域消防指令センター消防指令業務の共同運用を開始する。	
〃	比企広域消防本部の組織等に関する規則の一部を改正する。 （管理課を消防総務課に改称した） （指令課を廃止し3課とした） （警防課警防係、研修・施設係を廃止し警防救助係、救急管理係、消防調整係、指令管理係、指令係を置き8係とした）	
〃	比企広域市町村圏組合消防署の組織等に関する規程などの一部を改正する。 （東松山消防署及び小川消防署の消防課指導係を廃止し1係とした）	
令和7年		
3月4日	岩手県大船渡市林野火災に伴い、緊急消防援助隊を岩手県大船渡市に計2隊9名を派遣する。	
3月21日	消防本部及び東松山消防署庁舎の大規模改修工事が完了した。	
3月31日	6年度内退職者8名、職員総数271名となる。	
4月1日	職員3名の派遣並びに出向を解き、埼玉県へ職員1名派遣、埼玉西部地域消防指令事務協議会へ職員1名派遣、比企広域市町村圏組合事務局へ職員1名出向、新規採用7名、職員総数278名となる。	
〃	比企広域市町村圏組合消防署の組織等に関する規程などの一部を改正する。 （指令管理係を廃止とした）	
7月22日	小型搬送車（スズキ キャリー）を比企地区危険物防火安全協会より寄贈を受け、消防本部警防課に配備した。	
令和8年		
1月13日	救急車（高規格）を購入し、小川消防署に更新配備した。	
2月17日	救急車（高規格）を購入し、吉見分署に更新配備した。	
2月27日	水槽付消防ポンプ自動車（災害対応特殊消防ポンプ自動車）を購入し、松山北分署に更新配備した。	

令和 8 年

3 月 1 7 日	高坂分署新庁舎完成（鉄筋コンクリート造 2 階建、延べ面積 512.09 m ² ） 職員 1 1 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台、連絡車 1 台をそれぞれ配備し、運用を開始した。
3 月 3 1 日	7 年度内退職者 3 名、職員総数 2 7 5 名となる。
4 月 1 日	職員 2 名の派遣を解き、埼玉西部地域消防指令事務協議会へ職員 2 名派遣、新規採用 5 名、職員総数 2 8 0 名となる。
〃	第 1 4 代消防長に原芳和氏が就任する。

総務

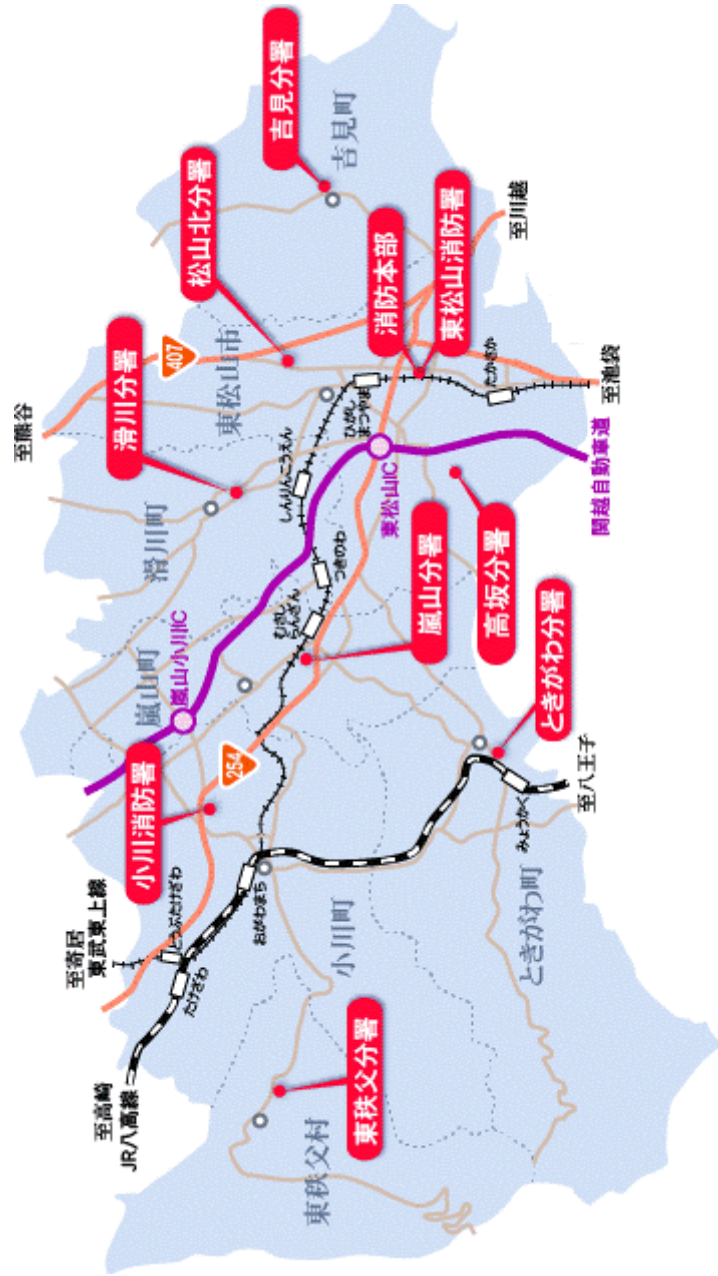
令和7年度防火ポスター展

東松山市長賞



東松山市立松山第二小学校 4年生 橋本 礼 さん

管内情報



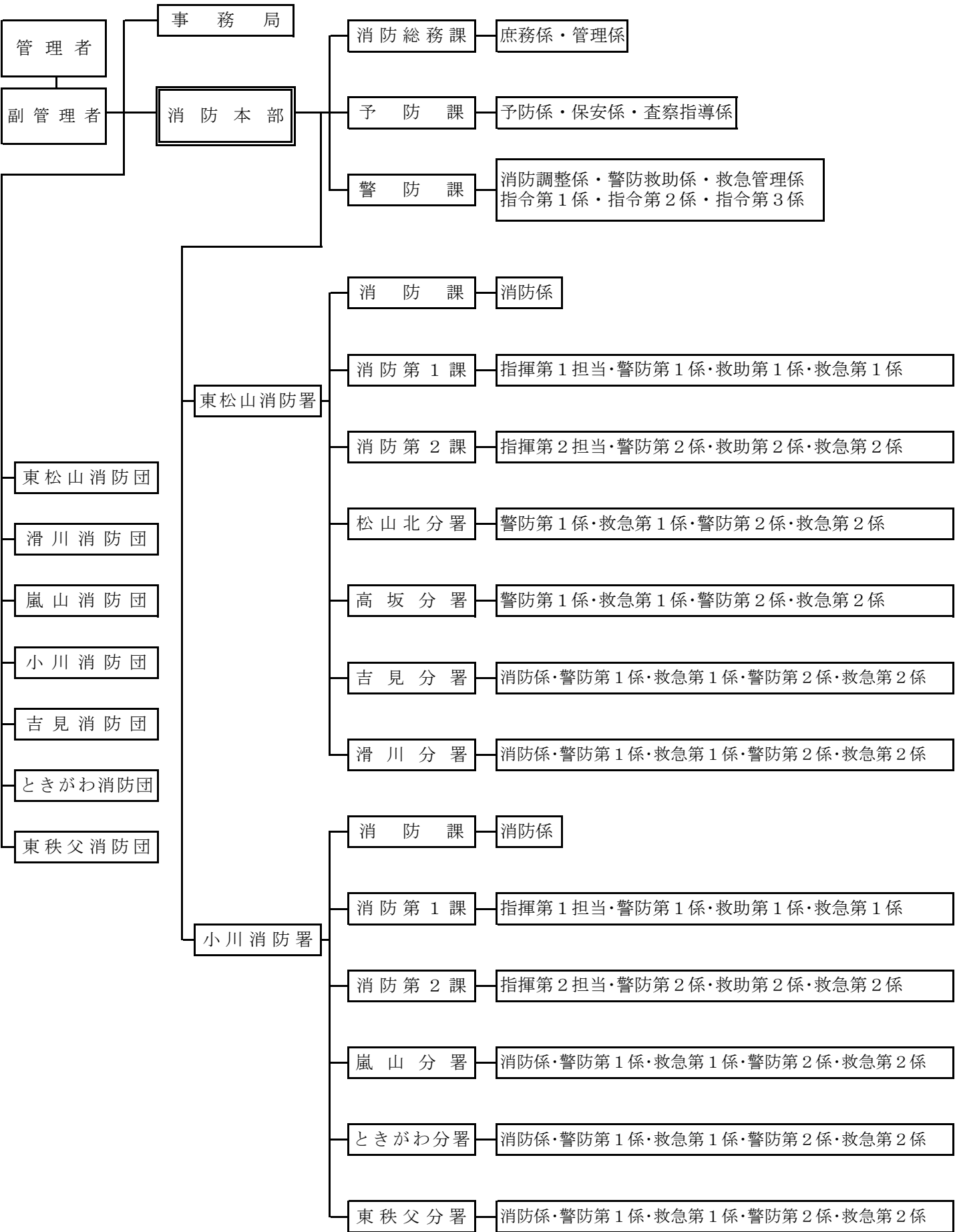
管内の面積・人口・世帯

(令和8年4月1日現在)

区分	東松山市	滑川町	嵐山町	小川町	吉見町	ときがわ町	東秩父村	合計
面積 km ²	65.35	29.68	29.92	60.36	38.64	55.90	37.06	316.91
人口	男	10,075	8,531	13,417	8,723	5,070	1,144	92,486
	女	9,635	8,638	13,482	8,509	4,930	1,156	91,766
	合計	19,710	17,169	26,899	17,232	10,000	2,300	184,252
世帯数	44,240	8,621	8,586	13,120	7,956	4,743	1,030	88,296

比企広域消防組織図

(令和8年4月1日現在)



令和 8 年度構成市町村予算額

(単位 千円)

市町村名	一般会計予算額	消防費予算額	一般会計と消防費の割合 (%)
東 松 山 市	38,970,000	2,579,547	6.62
滑 川 町	8,809,000	405,635	4.60
嵐 山 町	7,338,000	501,383	6.83
小 川 町	11,990,000	605,329	5.05
吉 見 町	7,758,000	401,921	5.18
と き が わ 町	6,515,770	354,082	5.43
東 秩 父 村	3,575,000	158,722	4.44
合 計	84,955,770	5,006,619	5.89

比企広域消防本部予算額

歳 入

(単位 千円)

款	8 年度予算額	7 年度予算額	8 年度構成比 (%)
1 分担金及び負担金	3,396,674	3,302,256	92.63
2 使用料及び手数料	1,800	1,800	0.05
3 国庫支出金	1	2	0.00
4 県支出金	1	1	0.00
5 財産収入	3,379	4,631	0.09
6 寄附金	1	1	0.00
7 繰越金	90,000	70,000	2.46
8 諸収入	26,144	32,109	0.71
9 組合債	149,000	707,200	4.06
歳入合計	3,667,000	4,118,000	100.00

歳 出

(単位 千円)

款	8 年度予算額	7 年度予算額	8 年度構成比 (%)
1 総務費	30,009	22,337	0.82
2 消防費	3,406,576	3,913,974	92.90
3 公債費	220,681	171,520	6.02
4 予備費	9,734	10,169	0.26
歳出合計	3,667,000	4,118,000	100.00

比企広域消防本部予算の構成市町村負担金

(単位 千円)

市町村名	年度	常備消防費	非常備消防費	合 計
東 松 山 市	8 年	1, 241, 048	19, 227	1, 260, 275
	7 年	1, 202, 238	23, 053	1, 225, 291
滑 川 町	8 年	362, 842	20, 781	383, 623
	7 年	353, 296	16, 656	369, 952
嵐 山 町	8 年	344, 660	28, 531	373, 191
	7 年	335, 479	25, 387	360, 866
小 川 町	8 年	496, 522	35, 256	531, 778
	7 年	487, 917	32, 698	520, 615
吉 見 町	8 年	350, 497	23, 333	373, 830
	7 年	342, 072	19, 707	361, 779
と き が わ 町	8 年	292, 632	31, 125	323, 757
	7 年	283, 201	29, 454	312, 655
東 秩 父 村	8 年	120, 999	29, 221	150, 220
	7 年	118, 390	32, 708	151, 098
合 計	8 年	3, 209, 200	187, 474	3, 396, 674
	7 年	3, 122, 593	179, 663	3, 302, 256

職 員 の 配 置 状 況

(令和8年4月1日現在)

階 級 別 所 属 別		消 防 吏 員								合 計		
		消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士			
消 防 本 部	消 防 長	1								1		
	次 長		1							1		
	副 参 事		1							1		
	消防 総務課	課 長		(1)						(1)	0	10
		課 長 補 佐				1					1	
		庶 務 係					1		1		2	
		管 理 係					2	1		1	4	
		派 遣 等					2		1		3	
	予 防 課	課 長			1						1	10
		主 幹			1						1	
		課 長 補 佐				1					1	
		予 防 係					2	1			3	
		査 察 指 導 係					1		1		2	
		保 安 係					1	1			2	
	警 防 課	課 長			1						1	16
		課 長 補 佐				1					1	
		消 防 調 整 係					2			1	3	
		警 防 救 助 係					2				2	
		救 急 管 理 係					2				2	
		指 令 第 1 係				1	1				2	
		指 令 第 2 係					2				2	
		指 令 第 3 係				1	1				2	
	派 遣 等				1					1		
	消 防 署	東松山消防署	署 長		1						1	139
副 署 長					1						1	
消 防 課					(1)	2	2			1	(1) 5	
消 防 第 1 課					1	2	7	9	4	5	28	
消 防 第 2 課					1	2	7	9	4	5	28	
松 山 北 分 署					1	2	8	4	2	4	21	
高 坂 分 署						1	6	2	2		11	
吉 見 分 署					1	2	9	2	2	6	22	
滑 川 分 署					1	2	7	6	2	4	22	
小川消防署		署 長		1							1	102
		副 署 長			1						1	
		消 防 課			(1)	2	1				(1) 3	
		消 防 第 1 課			1	2	7	5	3	4	22	
		消 防 第 2 課			1	2	6	7	3	3	22	
		嵐 山 分 署			1	2	9	4	2	4	22	
		ときがわ分署			1	3	8	2	2	4	20	
		東 秩 父 分 署				1	4	4	2		11	
合 計		1	(1) 4	(2) 14	31	100	57	31	42	(3) 280		

() 内は、兼務者及び事務取扱者の数を示す。

職 員 の 勤 続 年 数

(令和8年4月1日現在)

階 級 別 勤続年数別	小 計	消 防 吏 員							
		消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
1 年 未 満	(1) 5								(1) 5
1 年以上 2 年未満	(1) 7								(1) 7
2 年以上 3 年未満	6								6
3 年以上 4 年未満	(3) 6								(3) 6
4 年以上 5 年未満	(2) 8								(2) 8
5 年以上 6 年未満	(3) 6							(2) 4	(1) 2
6 年以上 7 年未満	6							2	4
7 年以上 8 年未満	2							2	
8 年以上 9 年未満	(1) 7					1		2	(1) 4
9 年以上10年未満	9						4	5	
10年以上11年未満	13						5	8	
11年以上12年未満	8						4	4	
12年以上13年未満	10						6	4	
13年以上14年未満	13					2	11		
14年以上15年未満	12					4	8		
15年以上16年未満	12					7	5		
16年以上17年未満	12					9	3		
17年以上18年未満	12					6	6		
18年以上19年未満	8					7	1		
19年以上20年未満	7					6	1		
20年以上21年未満	7					7			
21年以上22年未満	4					4			
22年以上23年未満	4					4			
23年以上24年未満	4					4			
24年以上25年未満	5				1	4			
25年以上26年未満	5				1	4			
26年以上27年未満	5					5			
27年以上28年未満	(1) 5				(1) 1	4			
28年以上29年未満	3				2	1			
29年以上30年未満	4				2	2			
30年以上31年未満	10				2	7	1		
31年以上32年未満	12			1	6	5			
32年以上33年未満	7			1	3	3			
33年以上34年未満	6				5	1			
34年以上35年未満	11		1	3	5	1	1		
35年以上36年未満	9			4	3	1	1		
36年以上37年未満	4	1	2	1					
37年以上38年未満	3		1	2					
38年以上39年未満									
39年以上40年未満	1			1					
40年以上41年未満	1			1					
41年以上42年未満									
42年以上43年未満	1					1			
合 計	(12) 280	1	4	14	(1) 31	100	57	(2) 31	(9) 42
平 均 勤 続	18.1	36.0	35.7	35.2	31.3	22.1	14.3	9.0	3.2

() 内は、女性消防吏員数を示す。

職 員 の 年 齢

(令和8年4月1日現在)

階 級 別 勤続年数別	小 計	消 防 吏 員							
		消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
1 8 歳	(1) 2								(1) 2
1 9 歳	(1) 2								(1) 2
2 0 歳	1								1
2 1 歳	3								3
2 2 歳	(1) 5								(1) 5
2 3 歳	7								7
2 4 歳	(2) 7								(2) 7
2 5 歳	(1) 1								(1) 1
2 6 歳	(1) 7								(1) 7
2 7 歳	(1) 8							(1) 6	2
2 8 歳	3							2	1
2 9 歳	(2) 12							10	(2) 2
3 0 歳	(1) 11							(1) 9	2
3 1 歳	6						5	1	
3 2 歳	9						6	3	
3 3 歳	10						10		
3 4 歳	5						5		
3 5 歳	12					2	10		
3 6 歳	12					4	8		
3 7 歳	16					8	8		
3 8 歳	9					8	1		
3 9 歳	8					8			
4 0 歳	2					2			
4 1 歳	12					11	1		
4 2 歳	7					7			
4 3 歳	3					3			
4 4 歳	7					7			
4 5 歳	4					4			
4 6 歳	8					8			
4 7 歳	1					1			
4 8 歳	5				1	4			
4 9 歳	(1) 12				(1) 2	10			
5 0 歳	10				5	5			
5 1 歳	11				7	3	1		
5 2 歳	14			1	10	3			
5 3 歳	8			3	3	1	1		
5 4 歳	8		2	4	2				
5 5 歳	3		1	1			1		
5 6 歳	1			1					
5 7 歳	1				1				
5 8 歳	2	1		1					
5 9 歳	4		1	3					
6 0 歳	1					1			
合 計	(12) 280	1	4	14	(1) 31	100	57	(2) 31	(9) 42
平 均 年 齢	38.9	58.0	55.5	55.2	51.5	43.3	35.4	29.1	23.8

() 内は、女性消防吏員数を示す。

職員の教育実施状況

(令和8年4月1日現在)

教 育 課 程					累計	7年度	教 育 課 程					累計	7年度
消 防 大 学 校	総合	幹 部 科			7	1	埼 玉 県 消 防 学 校	初 任 教 育			270	4	
		警 防 科			1			教幹部 育部	初 級 幹 部 科			17	1
	専 科	救 助 科			7			専 科 教 育	予 防 科 予 防 課 程			2	
		救 急 科			5				予 防 査 察 科			24	
		予 防 科			1				火 災 調 査 科			21	2
		危 険 物 科			1				警 防 科			41	2
		火 災 調 査 科			11	1			特 殊 災 害 科			14	
		航 空 隊 長 コ ー ス			2				救 急 科 Ⅱ 課程・標準課程含む			241	6
	講 習	女 性 活 躍 推 進 コ ー ス			1			特 別 教 育	救 助 科			65	2
		自 主 防 災 組 織 育 成 短 期 コ ー ス			1				警 防 活 動 教 育			26	1
		危 機 管 理 国民保護 コ ー ス			2				実 火 災 訓 練 教 育			23	3
		合 計			39	2			幹 部 特 別 教 育			15	1
								校	実 科 指 導 員 教 育			11	2
						水 難 救 助 員 教 育			5				
						は し ご 車 操 作 員 教 育			1				
						高 度 ・ 特 別 高 度 救 助 教 育			2				
						合 計			778	24			

職員の特殊技能・各種資格状況

(令和8年4月1日現在)

種 類			総 数	種 類		総 数
自 動 車 運 転 免 許	大 型	2 種	2	危 険 物 取 扱 者	甲 種	4
		1 種	250		乙 種	53
	普 通 (中型・準中型含む)	1 種	28		丙 種	33
	大 型 特 殊		9	予 防 技 術 資 格 認 定 者		61
	自 動 二 輪		69	特 殊 無 線 技 士		268
	け ん 引		6	衛 生 管 理 者		16
自 動 車 整 備 士			1	高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者		39
消 防 設 備 士		甲	7	小 型 船 舶 操 縦 士		80
		乙	17	潜 水 士		76
救 急 救 命 士			87	特定化学物質等作業者技能講習		27
応 急 手 当 指 導 員 養 成 講 習			261	技 能 講 習 修 了 者	ガ ス 溶 接	30
					ア ー ク 溶 接	12
					玉 掛	88
					酸 素 欠 乏 危 険 作 業	52
					有 機 溶 剤 主 任	5
					足 場 組 立 作 業 主 任	8
					小 型 移 動 式 ク レ ーン	84

職 員 の 居 住 地

(令和8年4月1日現在)

居 住 地			人 員	居 住 地			人 員
管内の居住地	東 松 山 市		83	管外の居住地	鴻 巣 市		9
	滑 川 町		28		桶 川 市		2
	嵐 山 町		17		加 須 市		1
	小 川 町		32		深 谷 市		5
	吉 見 町		16		久 喜 市		2
	と き が わ 町		15		さ い た ま 市		2
	東 秩 父 村		5		秩 父 市		1
	管 内 計		196		日 高 市		2
管外の居住地	坂 戸 市		13		鳩 山 町		4
	鶴 ケ 島 市		3		川 島 町		2
	熊 谷 市		9		寄 居 町		10
	川 越 市		10		毛 呂 山 町		1
	北 本 市		4		上 里 町		1
	狭 山 市		2				
	上 尾 市		1		管 外 計		84
				合 計			280

消 防 庁 舎 等 の 現 況

(令和8年4月1日現在)

区 分	所 在 地	建 築 年月日	構 造	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)
消 防 本 部 東 松 山 消 防 署	〒 355-0073 東松山市 大字上野本1300-1 TEL 0493-23-2266(代表)	昭和 55. 10. 31 平成 20. 7. 31 23. 3. 24 令和 7. 3. 21 (改修)	鉄筋コンクリート造2階建 車庫棟(別棟) 本部 鉄骨造 署 鉄骨造 防災車庫棟(別棟)鉄骨造2階建 訓練塔B塔(別棟) 鉄筋コンクリート造2階建	17,532.36	2,820.83
松 山 北 分 署	〒 355-0005 東松山市 大字松山2551-1 TEL 0493-23-2260	平成 1. 4. 1 令和 1. 12. 11 (改修)	鉄筋コンクリート造2階建 車庫棟(別棟) 鉄骨造	3,147.54	509.04
高 坂 分 署	〒 355-0062 東松山市 大字西本宿378-1 TEL 0493-34-4535	令和 8. 3. 17	鉄筋コンクリート造2階建	2,528.81	512.09
吉 見 分 署	〒 355-0118 比企郡吉見町 大字下細谷1196-1 TEL 0493-54-1558	平成 13. 10. 1	鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造6階建 車庫棟(別棟) 鉄骨造	4,759.64	1,529.84
滑 川 分 署	〒 355-0811 比企郡滑川町 大字羽尾2532-2 TEL 0493-56-2221	平成 27. 7. 1	鉄筋コンクリート造2階建 一部6階建	2,787.96	1,219.66
小 川 消 防 署	〒 355-0312 比企郡小川町 大字上横田1247-2 TEL 0493-72-3565	平成 24. 10. 10	鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造2階建 車庫棟(別棟)鉄骨造 訓練塔B塔(別棟) 鉄筋コンクリート造3階建 訓練塔C塔(別棟) 鉄骨造3階建	9,697.40	2,660.11
嵐 山 分 署	〒 355-0215 比企郡嵐山町 大字平澤2628 TEL 0493-62-3890	平成 11. 4. 1	鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造6階建 車庫棟(別棟) 鉄骨造	2,386.53	1,200.70
ときがわ分署	〒 355-0354 比企郡ときがわ町 大字番匠385-1 TEL 0493-65-1531	平成 16. 8. 20	鉄筋コンクリート造2階建 一部4階建	2,162.26	999.90
東 秩 父 分 署	〒 355-0375 秩父郡東秩父村 大字御堂541-1 TEL 0493-82-1215	平成 30. 3. 6	鉄骨造2階建	2,473.69	462.71

防 警

令和7年度防火ポスター展

滑川町長賞

警

防



滑川町立月の輪小学校4年生 日下 悠愛 さん

消防力の整備指針と現況

1 管内人口

(令和8年4月1日現在)

区 分	人 口
市 街 地 の 人 口	66,105
準 市 街 地 の 人 口	78,346
そ の 他 の 地 域 の 人 口	39,801
合 計	184,252

2 常備消防力

(令和8年4月1日現在)

区 分	基 準 数	現 有 数	充 足 率 (%)
署 所	※ 9	9	100.0

区 分	基 準 数	現 有 数	充足率(%)	基準人員	現有人員	充足率(%)
消 防 ポ ン プ 自 動 車 (水 槽 車 2 台 含 む)	※ 11	11	100.0	286	219	76.5
指 揮 車	2	2	100.0			
は し ご 車	2	2	100.0			
化 学 消 防 車	※ 2	2	100.0			
救 助 工 作 車	2	2	100.0			
救 急 車	※ 10	10	100.0	27	13	48.1
予 防 要 員						
通 信 員				※ 6	6	100.0
庶 務 処 理 等 の 人 員				※ 50	42	84.0
合 計				※ 369	280	75.8

3 非常備消防力

(令和8年4月1日現在)

区 分	基 準 数	現 有 数	充足率(%)	基準人員	現有人員	充足率(%)
分 団 (部)	※ 42	42	100.0	※774(55)	682(38)	88.1
消 防 ポ ン プ 自 動 車 (台)	39	39	100.0			
手引き・小型動力ポンプ (口)	6	6	100.0			
動力消防ポンプ車数 (口)	84	84	100.0			

()内は、機能別消防団員数を示す。

※印の基準については、市町村の実情に基づき算定した弾力基準数です。

消 防 水 利 の 状 況

(令和 8 年 4 月 1 日現在)

種別 市町村別	防火水槽		消火栓		プール 沼・池	消 防 井 戸	合 計
	4 0 m ³ 以上	2 0 m ³ 以上 4 0 m ³ 未満	1 5 0 mm 以上	1 5 0 mm 未満			
東 松 山 市	598	171	619	664	42		2, 094
滑 川 町	101	53	226	203	51		634
嵐 山 町	131	50	103	187	23		494
小 川 町	215	29	202	591	12		1, 049
吉 見 町	176	35	166	266	23		666
ときがわ町	194	46	86	175	5		506
東 秩 父 村	60	15	13	109	2		199
合 計	1, 475	399	1, 415	2, 195	158	0	5, 642

消 火 栓 口 径 別 調

(令和 8 年 4 月 1 日現在)

口径 市町村別	100mm 未満	100mm	150mm	200mm	250mm	300mm 以上	合 計
東 松 山 市	117	547	311	161	37	110	1, 283
滑 川 町	122	81	134	58		34	429
嵐 山 町	84	103	69	26	3	5	290
小 川 町	366	225	102	74	16	10	793
吉 見 町	133	133	69	54	13	30	432
ときがわ町	107	※ 68	39	45		2	261
東 秩 父 村	85	※ 24	13				122
合 計	1, 014	1, 181	737	418	69	191	3, 610

※ 125mm口径を含む(ときがわ町 1基、東秩父村 3基)

主な特殊器具配置状況

(令和8年4月1日現在)

所 属 別			合	警	東	松	高	吉	滑	小	嵐	と	東
分 類	器具名	計	課	防	松	山	坂	見	川	川	山	きがわ	秩
照明器具	発電機	37	6	10	2	2	2	2	2	9	1	2	1
	投光器一式	28	1	7	2	1	2	2	2	8	1	3	1
	照明装置	2		1						1			
破壊器具	エンジンカッター	19		5	2	1	2	1	4	1	2	1	
	ガス溶断機	2		1					1				
	チェーンソー	16	1	3	1	1	1	2	2	2	2	2	1
	空気鋸	4		2					2				
	削岩機	4		2					2				
	ハンマードリル	4		3					1				
	大型油圧救助器具一式	4		2					2				
救助器具	油圧救助器具一式	2		1					1				
	三連梯子	19	1	4	1	2	1	3	3	2	1	1	
	かぎ付き梯子	4		2					2				
	救命索発射銃	2		1					1				
	サバイバースリング又は救助用縛帯	45	1	21	1	1	2	2	15	1	1		
	平担架	9		3			1		3	1	1		
	バスケット担架	6		3					3				
	可搬式ウインチ	10		3			1		5		1		
	マンホール救助器具	3		1					2				
	マット型空気ジャッキ	2		1					1				
	救助用支柱器具	1		1									
	クレーン装置（3t未満）	2		1					1				
	油圧ウインチ装置（電動を含む）	4		2					2				
	耐電服一式	9		5					4				
	陽圧式化学防護服	6		4					2				
	放射能防護服一式	7		3				1	2	1			
	耐熱服一式	6		2					2	2			
	高圧活線接近警報機	10		5					5				
	検電器	6		2	1	1	1		1				
	除染シャワーシステム一式	1		1									
	潜水器具一式	8		8									
	救命ボート（アルミ製、ゴム製、FRP製）	4		2			1		1				
	船外機	4		2			1		1				
	画像探索機	1		1									
	熱画像直視装置	6		4						2			
測定器具	張力計	7		2			1		2	1	1		
	ガス測定器	11		2	1	1	1	1	2	1	1	1	
	真空法ガス検知器	4		2					2				
	放射線測定器	8	1	4					3				
	ポケット線量計	26	21	5									
	赤外線放射温度計	4		2					2				
その他	空気ボンベ	247		78	14	15	15	15	70	15	15	10	
	酸素ボンベ	212	4	73	13	10	11	10	61	10	10	10	
	酸素呼吸器	5		5									
	空気呼吸器	111		43	6	5	5	5	32	6	6	3	
	送排風機	3		1					2				
	緩降機	5		3					2				
	エアーテント一式	4	3						1				
	車両移動器具	2		1					1				

比企広域消防本部保有車両一覧表

(令和8年4月1日現在)

区 分	No.	名 称	シャシ・ポンプ等	登録ナンバー	初年度登録	無線 装置	A V M	広 報 装 置	備 考
消 防 本 部	1	庁用車	ニッサン	熊谷300 ふ3959	H18. 10				乗用（ティアナ）
	2	連絡車	トヨタ	熊谷300 ゆ1853	H24. 6				乗用（プリウス）
	3	査察車	ホンダ	熊谷800 す5292	H27. 1	●		●	予防1（フィット）
	4	保安車	トヨタ	熊谷800 す3741	H24. 2	●		●	予防2（カローラ）
	5	連絡車	トヨタ	熊谷330 ま2402	R 6. 1				乗用（ノア）
	6	連絡車	ニッサン	熊谷501 と 524	H22. 3				乗用（ティエダ）
	7	マイクロ	トヨタ	熊谷200 さ1182	H22. 3				乗用（ハイエース）15人乗り
	8	小型搬送車	スズキ	熊谷484 う 20	R 7. 6				乗用（キャリアー）
	9	支援車	三菱	熊谷800 す 854	H19. 3	●	●	●	20人乗り
	10	地震体験車	いすゞ	熊谷830 さ1502	H27. 2				
	11	防災体験車	トヨタ	熊谷400 ち4497	H26. 9				電動リフター（100kg）
東 松 山 消 防 署	12	指令車	トヨタ	熊谷800 す2469	H21. 8	●		●	4WD
	13	指揮車	トヨタ	熊谷800 す6436	H29. 2	●	●	●	4WD
	14	松山化学1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 す1202	H24. 2	●	●	●	水槽（1.3t）化学薬液（0.5t）・CAFS装置
	15	松山2号車	日野・モリタA-2	熊谷830 さ1311	H25. 11	●	●	●	
	16	水槽車	日野・ロビンB-2	熊谷800 は 511	H18. 11	●	●	●	水槽（9t）
	17	救助工作車	日野	熊谷830 た1102	H23. 2	●	●	●	照明・ウインチ・クレーン・救助資機材
	18	はしご車	日野	熊谷830 た1002	H22. 2	●	●	●	照明・30m級先端屈折
	19	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 セ2012	R 2. 11	●	●	●	松山救急1 高度救命処置資器材
	20	高規格救急車	トヨタ	熊谷800 す6453	H29. 2	●	●	●	松山救急2 高度救命処置資器材
	21	調査車	ニッサン	熊谷800 さ9801	H18. 2	●	●	●	
	22	資機材搬送車	日野	熊谷830 さ1409	H26. 9	●	●	●	格納式パワーゲート（1000kg）
	23	パワーショベル	小松		H 3. 11				付属品グラスパーV
松 山 分 北 署	24	松山北1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 つ2602	R 8. 2	●	●	●	水槽（0.6t）災害対応消防ポンプCD-Ⅰ型・CAFS装置
	25	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 ね2001	R 1. 12	●	●	●	高度救命処置資器材
	26	連絡車	トヨタ	熊谷883 あ2302	R 5. 1	●		●	
高 坂 分 署	27	高坂1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 セ1811	H30. 12	●	●	●	水槽（2t）災害対応水Ⅱ型・CAFS装置
	28	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 す2102	R 3. 1	●	●	●	高度救命処置資器材
	29	連絡車	ニッサン	熊谷880 あ 225	H19. 7	●		●	
吉 見 分 署	30	吉見1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 セ1603	H28. 3	●	●	●	水槽（2t）災害対応水Ⅱ型・CAFS装置
	31	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 ち2602	R 8. 1	●	●	●	高度救命処置資器材
	32	連絡車	三菱	熊谷800 す1741	H20. 6	●		●	
	33	資機材搬送車	三菱	熊谷800 さ5820	H14. 8	●		●	4WD
滑 川 分 署	34	滑川1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 そ2211	R 4. 11	●	●	●	水槽（2t）災害対応水Ⅱ型・CAFS装置
	35	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 セ2401	R 6. 1	●	●	●	高度救命処置資器材
	36	連絡車	ホンダ	熊谷800 す2425	H21. 7	●		●	
小 川 消 防 署	37	指令車	トヨタ	熊谷800 す1743	H20. 6	●		●	4WD
	38	指揮車	トヨタ	熊谷800 す5387	H27. 3	●	●	●	4WD
	39	小川1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 す1702	H29. 2	●	●	●	水槽（2t）災害対応水Ⅱ型・CAFS装置
	40	小川2号車	日野・モリタA-2	熊谷800 す2041	H20. 11	●	●	●	動力昇降装置・動力ホース延長装置
	41	水槽車	日野・モリタB-2	熊谷800 は 527	H19. 2	●	●	●	水槽（5t）
	42	救助工作車	日野	熊谷831 と 119	H21. 2	●	●	●	照明・ウインチ・クレーン・救助資機材
	43	はしご車	日野	熊谷830 す1402	H26. 2	●	●	●	20m級屈折はしご
	44	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 ち2601	R 7. 12	●	●	●	高度救命処置資器材
	45	調査車	トヨタ	熊谷800 す1374	H19. 12	●	●	●	
	46	資機材搬送車	日野	熊谷830 ち2402	R 6. 2	●		●	4WD アコーディオン式幌
	47	連絡車	ニッサン	熊谷501 と 525	H22. 3				乗用（ティエダ）
	48	連絡車	トヨタ	熊谷300 も5447	H23. 3				乗用（ハイエース）10人乗り
嵐 山 分 署	49	嵐山化学1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 め2001	R 1. 12	●	●	●	水槽(1.5t)化学薬液(0.5t)災害対応特殊化学Ⅱ型・CAFS装置
	50	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 す1901	H31. 2	●	●	●	高度救命処置資器材
	51	連絡車	トヨタ	熊谷883 い2302	R 5. 2	●		●	
と き が 分 署	52	ときがわ1号車	日野・モリタA-2	熊谷830 つ2201	R 4. 1	●	●	●	水槽（2t）災害対応水Ⅱ型・CAFS装置
	53	高規格救急車	トヨタ	熊谷800 す6454	H29. 2	●	●	●	高度救命処置資器材
	54	連絡車	トヨタ	熊谷880 あ1496	R 2. 8	●		●	4WD
東 秩 父 分 署	55	東秩父1号車	日野・モリタA-2	熊谷800 は 617	H20. 11	●	●	●	水槽（2t）災害対応水Ⅱ型・高圧ポンプ
	56	高規格救急車	トヨタ	熊谷830 た2201	R 4. 1	●	●	●	高度救命処置資器材
	57	連絡車	スズキ	熊谷883 あ2403	R 6. 3	●		●	4WD
予 備 車	58	高規格救急車	トヨタ	熊谷800 す5273	H26. 12	●	●	●	高度救命処置資器材
	59	予備消防車	日野・モリタA-2	熊谷800 は 644	H21. 10		●	●	水槽（2t）災害対応水Ⅱ型

地震体験車運行状況

(令和7年1月～令和7年12月)

件数等 月別	運 行 件 数	操 作 回 数	体 験 人 数
1 月	7	117	487
2 月	4	73	140
3 月	1	15	46
4 月			
5 月	3	16	80
6 月	2	16	103
7 月	3	25	192
8 月	1	7	22
9 月	2	5	20
10 月	9	155	518
11 月	12	275	1,053
12 月	5	53	186
合 計	49	757	2,847

用 途 別 運 行 状 況

(令和7年1月～令和7年12月)

用途別 利用数	公 民 館	集 会 所	病 院	老 人 福 祉 施 設	保 育 園	幼 稚 園	養 護 施 設	学 校 (小中高)	そ の 他	合 計
件 数		6		1		11		10	21	49
体 験 人 数		244		32		681		468	1,422	2,847

防 災 体 験 車 運 行 状 況

(令和7年1月～令和7年12月)

件数等 月別	運 行 件 数	体 験 回 数	体 験 人 数
1 月	1	1	70
2 月	4	4	232
3 月			
4 月			
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月	3	82	273
10 月	3	324	361
11 月			
12 月			
合 計	11	411	936

用 途 別 運 行 状 況

(令和7年1月～令和7年12月)

用途別 利用数	公 民 館	集 会 所	病 院	老 人 福 祉 施 設	保 育 園	幼 稚 園	養 護 施 設	学 校 (小中高)	そ の 他	合 計
件 数		2				3		1	5	11
体 験 人 数		60				327		5	544	936

予 防

令和7年度防火ポスター展

嵐 山 町 長 賞



嵐山町立志賀小学校4年生 佐藤 穂乃果 さん

市町村別防火対象物一覧表

(令和8年4月1日現在)

市 町 村 別				東 松 山 市	滑 川 町	嵐 山 町	小 川 町	吉 見 町	と き が わ 町	東 秩 父 村	合 計
項 目 ・ 用 途											
1	イ		劇 場 ・ 映 画 館								0
	ロ		公 会 堂 又 は 集 会 場	66	14	25	47	17	28	7	204
2	イ		キャバレー・カフェ等								0
	ロ		遊技場又はダンスホール	4	2		1		1		8
	ハ		性風俗関連特殊営業店舗等								0
	ニ		カラオケボックス等								0
3	イ		待 合 ・ 料 理 店 等								0
	ロ		飲 食 店	69	9	12	26	5	19	1	141
4			百貨店・マーケット等	133	24	36	37	13	12	2	257
5	イ		旅 館 ・ ホ テ ル 等	11	4		3	1	2	2	23
	ロ		寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	932	159	122	106	34	14	5	1,372
6	イ	(1)	避難のために患者の介助が必要な施設	1			3				4
		(2)	避難のために患者の介助が必要な有床診療所	1							1
		(3)	上記(1)以外の病院、上記(2)以外の有床診療所・有床助産所	10	2	2	4				18
		(4)	無床診療所・無床助産所	50	4	4	20	2	3		83
	ロ	(1)	老人短期入所施設等	27	5	6	14	4	9	2	67
		(2)	救 護 施 設								0
		(3)	乳 児 院								0
		(4)	障 害 児 入 所 施 設 等								0
		(5)	障 害 者 支 援 施 設	19	3	24	1	5	2		54
	ハ	(1)	老人デイサービスセンター等	10	1	4	9	5	2		31
		(2)	更 生 施 設								0
		(3)	保 育 施 設	26	8	4	4	1	4	1	48
		(4)	障 害 児 入 所 施 設	3	2	3	1	1			10
		(5)	就労支援・共同生活援助を行う施設等	36	8	8	5	4	2		63
	ニ		幼稚園、特別支援学校等	17	2	2		3	1		25
7			小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 校 等	88	20	20	28	17	13	5	191
8			図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	6	2	3	2	2		1	16
9	イ		蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等								0
	ロ		イ 以 外 の 公 衆 浴 場	1	2			1	1		5
10			車 両 の 停 車 場 等	1	2		1				4
11			神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	33	10	13	6	7	7	2	78
12	イ		工 場 又 は 作 業 場	356	128	154	144	103	170	24	1,079
	ロ		映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ								0
13	イ		自 動 車 車 庫 又 は 駐 車 場	19	1	1	3		5		29
	ロ		飛 行 機 格 納 庫								0
14			倉 庫	181	50	47	59	75	62	4	478
15			事 務 所 ・ 銀 行 等	290	67	47	71	63	40	22	600
16	イ		複合用途（特定防火対象物）	163	19	19	47	10	15	6	279
	ロ		複合用途（イ以外のもの）	106	9	10	14	4	7		150
16の2			地 下 街								0
16の3			準 地 下 街								0
17			重 要 文 化 財 建 造 物 等	3		2	1	1	3	2	12
18			ア ー ケ ー ド								0
19			市町村長の指定する山林								0
20			自治省令で定める舟車								0
合 計				2,662	557	568	657	378	422	86	5,330

中高層防火対象物数

(令和8年4月1日現在)

階 別		5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	合計
項目・用途													
1	イ 劇場・映画館												0
	ロ 公会堂又は集会場												0
2	イ キャバレー・カフェ等												0
	ロ 遊技場又はダンスホール		1										1
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等												0
	ニ カラオケボックス等												0
3	イ 待合・料理店等												0
	ロ 飲食店												0
4	百貨店・マーケット等												0
5	イ 旅館・ホテル等	1		1	2	1							5
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	59	5	3	3	5	8	4	2		1	2	92
6	イ	(1) 避難のために患者の介助が必要な施設	2			1							3
		(2) 避難のために患者の介助が必要のない施設											0
		(3) 上記(1)以外の病院、上記(2)以外の有床診療所・有床助産所	2	1	1								4
		(4) 無床診療所・無床助産所											0
	ロ	(1) 老人短期入所施設等											0
		(2) 救護施設											0
		(3) 乳児院											0
		(4) 障害児入所施設等											0
		(5) 障害者支援施設											0
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等											0
		(2) 更生施設											0
		(3) 保育施設											0
		(4) 障害児入所施設											0
		(5) 就労支援・共同生活援助を行う施設等											0
	ニ	幼稚園、特別支援学校等											0
7		小・中・高・大学校等	6			1							7
8		図書館・博物館・美術館等											0
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等											0
	ロ	イ以外の公衆浴場											0
10		車両の停車場等											0
11		神社・寺院・教会等											0
12	イ	工場又は作業場	7	1									8
	ロ	映画・テレビスタジオ											0
13	イ	自動車車庫又は駐車場											0
	ロ	飛行機格納庫											0
14		倉庫	3	2									5
15		事務所・銀行等	7	4									11
16	イ	複合用途（特定防火対象物）	9	2		3				1			15
	ロ	複合用途（イ以外のもの）	8		2								10
16の2		地下街											0
16の3		準地下街											0
17		重要文化財建造物等											0
合 計		104	16	7	9	7	8	4	2	1	1	2	161
市町村	東 松 山 市	85	8	6	6	5	6	3	2	1	1	1	124
	滑 川 町	4	1		1	1							7
	嵐 山 町	4	3		1								8
	小 川 町	7	1	1	1	1	2	1				1	15
	吉 見 町	3	2										5
	と き が わ 町	1	1										2
	東 秩 父 村												0

市町村別危険物施設の現況

(令和8年4月1日現在)

市町村別 施設別			合 計	東 松 山 市	滑 川 町	嵐 山 町	小 川 町	吉 見 町	と き が わ 町	東 秩 父 村
製 造 所			14	5	3	6				
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		130	34	26	22	12	18	15	3
	屋外タンク貯蔵所		42	18	14	2	4	3		1
	屋内タンク貯蔵所		8	2	3		1	2		
	地下タンク貯蔵所		135	58	15	15	21	14	12	
	簡易タンク貯蔵所		13	3	2	2	3	1	2	
	移動タンク貯蔵所		47	19	6	1	12	4	2	3
	屋 外 貯 蔵 所		23	2	13	1	2	2	3	
	小 計		398	136	79	43	55	44	34	7
取 扱 所	給 油 取扱所	営 業 用	43	18	3	6	7	6	3	
		自 家 用	51	25	6	2	2	9	3	4
	一 般 取 扱 所		95	36	15	6	16	14	8	
	小 計		189	79	24	14	25	29	14	4
合 計			601	220	106	63	80	73	48	11

指定数量別危険物製造所等施設数

(令和8年4月1日現在)

指定数量別 施設別			合 計	5 倍 以下	5 倍 を超え 1 0 倍 以下	1 0 倍 を超え 5 0 倍 以下	5 0 倍 を超え 100倍 以下	100倍 を超え 150倍 以下	150倍 を超え 200倍 以下	200倍 を超え 1 千倍 以下	1 千倍 を超え るもの
製 造 所			14	1	2	6	1	1	1	2	
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		130	41	44	31	4	4	1	3	2
	屋外タンク貯蔵所		42	5	12	20	2		3		
	屋内タンク貯蔵所		8	3	5						
	地下タンク貯蔵所		135	56	27	30	9	4	3	6	
	簡易タンク貯蔵所		13	13							
	移動タンク貯蔵所		47	42		5					
	屋 外 貯 蔵 所		23	16	7						
	小 計		398	176	95	86	15	8	7	9	2
取 扱 所	給 油 取扱所	営 業 用	43				4	4	5	30	
		自 家 用	51	5	4	40	2				
	一 般 取 扱 所		95	35	28	26	6				
	小 計		189	40	32	66	12	4	5	30	
合 計			601	217	129	158	28	13	13	41	2

防火管理者資格取得状況

	令和 6 年度			令和 7 年度			累計総数		
種 別	甲 種		乙種	甲 種		乙種	甲 種		乙種
	新規講習	再講習		新規講習	再講習		新規講習	再講習	
回 数	3	1	3	0	1	2	118	18	66
人 数	98	15	59	0	15	78	7,406	321	1,552

住宅防火モデル地区

(令和 7 年度)

場 所	地 区	世 帯 数
東 松 山 市	青鳥上区、畑中自治会、宮鼻自治会	399
滑 川 町	第 1 区下福田	224
嵐 山 町	菅谷 1 区	65
小 川 町	木呂子地区	64
吉 見 町	久米田自治会	148
ときがわ町	春和 3 区	58
東 秩 父 村	皆谷上区、皆谷下区	136

幼年消防クラブ

(令和 8 年 4 月 1 日現在)

場 所	団 体 名 称	児 童 数
東 松 山 市	桃 の 木 保 育 園	24
	若 草 保 育 園	27
	松 山 幼 稚 園	38
小 川 町	お が わ 幼 稚 園	41

火 災

令和7年度防火ポスター展

小 川 町 長 賞



小川町立八和田小学校4年生 福島 帆乃 さん

市 町 村 別 火 災 発 生 件 数

(令和7年1月～令和7年12月)

種別 市町村		合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	焼損床面積 (建物) m ²	損 害 額 (単位：千円)
東松山市	7年	41	18		7	16	781	82,532
	6年	36	15		7	14	1,209	201,950
	比較	5	3		0	2	-428	-119,418
滑川町	7年	11	3		2	6	290	34,458
	6年	8	4		1	3	0	1,382
	比較	3	-1		1	3	290	33,076
嵐山町	7年	13	5	3	1	4	527	28,125
	6年	9	7		1	1	262	26,320
	比較	4	-2	3	0	3	265	1,805
小川町	7年	14	7	1		6	1,912	202,332
	6年	7	3			4	140	2,027
	比較	7	4	1		2	1,772	200,305
吉見町	7年	16	7		1	8	608	35,546
	6年	18	12	1		5	663	73,964
	比較	-2	-5	-1	1	3	-55	-38,418
ときがわ町	7年	4	2		1	1	86	8,992
	6年	12	6	2		4	539	26,163
	比較	-8	-4	-2	1	-3	-453	-17,171
東秩父村	7年	0					0	0
	6年	1	1				0	2,550
	比較	-1	-1				0	-2,550
本部合計	7年	99	42	4	12	41	4,204	391,985
	6年	91	48	3	9	31	2,813	334,356
	比較	8	-6	1	3	10	1,391	57,629

月 別 火 災 概 要 （管内総計）

（令和7年1月～令和7年12月）

区 分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
出 火 件 数	建 物		5	8	5	1	2	4	3	4	1	2	3	4	42
	林 野		1	2						1					4
	車 両				2	1	2		1	2	1		2	1	12
	そ の 他		6	12	1	2	2	1		2	2	3	2	8	41
	合 計		12	22	8	4	6	5	4	9	4	5	7	13	99
焼 損 棟 数	全 焼		4	14	2		1	5	1	6			1	3	37
	半 焼			1	1		1	1			1				5
	部 分 焼		4	8	2		1	4	2	5		1		2	29
	ぼ や		3	4	1	1			1	1		1	2	1	15
	合 計		11	27	6	1	3	10	4	12	1	2	3	6	86
焼 損 面 積	建物（㎡）		311	1,148	1,599		130	470	12	117		20	29	368	4,204
	林野（a）		9	81						4					94
	車両（台）			3	2	1	2	1	1	2	1		2	1	16
死 傷 者	負 傷 者		2	3	1		4	3	1	1			1	2	18
	死 者		1	1				2		1	1			1	7
り 災 世 帯 数			4	20	2	1	2	6	1	3	1	3	1	3	47
り 災 人 員			7	36	6	2	6	11	2	8	2	5	2	6	93
損 害 額 （単位 千円）	建 物	建 物	13,376	75,290	129,781	2	2,138	53,700	3,089	3,218	5,545	2,683	605	23,127	312,554
		内容物	2,604	5,935	18,857		63	22,212	1,870	560	147	151	4,068	1,696	58,163
	林 野														0
	車 両			171	2,850	200	3,448	251	122	2,861	1,120		1,340	910	13,273
	そ の 他		18	40		8	29	88	481	6,821	488		7	15	7,995
	合 計		15,998	81,436	151,488	210	5,678	76,251	5,562	13,460	7,300	2,834	6,020	25,748	391,985

市 町 村 月 別 火 災 概 要

(令和7年1月～令和7年12月)

区 分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
東松山市	出火件数	建物	3	3	1	1	1			3		2	2	2	18
		林野													0
		車両			2				1	1	1		1	1	7
		その他	1	5		2		1		2		2	2	1	16
		合計	4	8	3	3	1	1	1	6	1	4	5	4	41
	焼損棟数	全焼	1	5			1			3			1		11
		半焼		1											1
		部分焼	3	6	1		1			5		1		1	18
		ぼや	2	3		1						1	1	1	9
		合計	6	15	1	1	2	0	0	8	0	2	2	2	39
	焼損面積	建物 (㎡)	80	565			10			77		20	29		781
		林野 (a)													0
		車両 (台)		1	2				1	1	1		1	1	8
	死傷者	負傷者		1	1		1			1					4
		死者	1	1						1					3
	り災世帯数		3	15		1	1			3		3			26
	り災人員		4	31		2	4			8		5			54
	損害額 (単位千円)	建物	2,947	57,001	224	2	285			2,428		2,683	605	46	66,221
		内容物	361	2,587						65		151	4,043	199	7,406
		林野													0
		車両		9	2,850		25		122	2,431	1,120		840	910	8,307
		その他	18	40			29		481	8			7	15	598
		合計	3,326	59,637	3,074	2	339	0	603	4,932	1,120	2,834	5,495	1,170	82,532

区 分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
滑川町	出火件数	建物					1	1						1	3
		林野													0
		車両				1	1								2
		その他		3							1			2	6
		合計	0	3	0	1	2	1	0	0	1	0	0	3	11
	焼損棟数	全焼												1	1
		半焼					1								1
		部分焼						1						1	2
		ぼや													0
		合計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4
	焼損面積	建物 (㎡)					120	20						150	290
		林野 (a)													0
		車両 (台)				1	1								2
	死傷者	負傷者					2	1							3
		死者												1	1
	り災世帯数						1							2	3
	り災人員						2							4	6
	損害額 (単位千円)	建物					1,853	4,958						16,192	23,003
		内容物					63	8,040						725	8,828
		林野													0
		車両				200	2,095								2,295
		その他				8					324				332
		合計	0	0	0	208	4,011	12,998	0	0	324	0	0	16,917	34,458

市 町 村 月 別 火 災 概 要

(令和7年1月～令和7年12月)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
嵐山町	出火件数	建物	2	2								1		5
		林野		2					1					3
		車両				1								1
		その他	2	1									1	4
		合計	4	5	0	0	1	0	0	1	0	0	1	13
	焼損棟数	全焼	3	7										10
		半焼												0
		部分焼	1	1										2
		ぼや	1									1		2
		合計	5	8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	14
	焼損面積	建物 (㎡)	231	296										527
		林野 (a)		81					4					85
		車両 (台)					1							1
	死傷者	負傷者	2	2		1								5
		死者												0
	り災世帯数		1	3								1		5
	り災人員		3	3								2		8
	損害額 (単位千円)	建物	10,429	12,587										23,016
		内容物	2,243	1,513								25		3,781
		林野												0
		車両					1,328							1,328
		その他												0
		合計	12,672	14,100	0	0	1,328	0	0	0	0	25	0	28,125

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小川町	出火件数	建物		1	2			2	1				1	7
		林野	1											1
		車両												0
		その他		2			2			1			1	6
		合計	1	3	2	0	2	2	1	0	1	0	2	14
	焼損棟数	全焼			1			4					2	7
		半焼			1									1
		部分焼			1			1	1					3
		ぼや		1										1
		合計	0	1	3	0	0	5	1	0	0	0	2	12
	焼損面積	建物 (㎡)			1,326			364	4				218	1,912
		林野 (a)	9											9
		車両 (台)					1							1
	死傷者	負傷者					1						2	3
		死者					2			1				3
	り災世帯数			1				4					1	6
	り災人員			1				7					2	10
	損害額 (単位千円)	建物			121,453			41,043	128				6,889	169,513
		内容物		2	18,061			13,561	8				772	32,404
		林野												0
		車両						251						251
		その他								164				164
		合計	0	2	139,514	0	0	54,855	136	0	164	0	7,661	202,332

市 町 村 月 別 火 災 概 要

(令和7年1月～令和7年12月)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
吉見町	出火件数	建物	2	1				2	1	1				7
		林野												0
		車両							1					1
		その他	2	1	1						1		3	8
		合計	2	3	2	0	0	2	2	1	1	0	3	16
	焼損棟数	全焼		2	1			1	3					7
		半焼								1				1
		部分焼		1				1						2
		ぼや						1	1					2
		合計	0	3	1	0	0	3	4	1	0	0	0	12
	焼損面積	建物 (㎡)		287	273			8	40					608
		林野 (a)												0
		車両 (台)		2					1					3
	死傷者	負傷者						1						1
		死者												0
	り災世帯数			1	1			1		1				4
	り災人員			1	5			2		2				10
	損害額 (単位千円)	建物	建物	5,702	8,010			2,961	790	5,545				23,008
			内容物	1,833	796			1,862	495	147				5,133
		林野												0
		車両		162					430					592
		その他							6,813					6,813
		合計		0	7,697	8,806	0	0	4,823	8,528	5,692	0	0	35,546

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ときがわ町	出火件数	建物			1		1							2
		林野												0
		車両										1		1
		その他	1											1
		合計	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4
	焼損棟数	全焼					1							1
		半焼					1							1
		部分焼					2							2
		ぼや			1									1
		合計	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	5
	焼損面積	建物 (㎡)					86							86
		林野 (a)												0
		車両 (台)										1		1
	死傷者	負傷者					1					1		2
		死者												0
	り災世帯数				1		2							3
	り災人員				1		4							5
	損害額 (単位千円)	建物	建物		94		7,699							7,793
			内容物				611							611
		林野												0
		車両										500		500
		その他					88							88
		合計		0	0	94	8,398	0	0	0	0	500	0	8,992

市 町 村 月 別 火 災 概 要

(令和7年1月～令和7年12月)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
東 秩 父 村	出火件数	建 物												0
		林 野												0
		車 両												0
		そ の 他												0
		合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	焼損棟数	全 焼												0
		半 焼												0
		部 分 焼												0
		ぼ や												0
		合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	焼損面積	建物 (㎡)												0
		林野 (a)												0
		車両 (台)												0
	死傷者	負 傷 者												0
		死 者												0
	り 災 世 帯 数													0
	り 災 人 員													0
	損害額 (単位千円)	建 物	建 物											0
			内容物											0
		林 野												0
		車 両												0
		そ の 他												0
		合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

出火原因別火災件数

(令和7年1月～令和7年12月)

原因別 市町村別	た ば こ	こ ん ろ	電配 灯電話等 の線	ス ト ー ブ	た き 火	放 火	放 火 の 疑 い	火 遊 び	そ の 他	不明・調 査中	合 計
東松山市	5 (3)	1 (1)	1		2	1 (1)	7 (3)		19 (6)	5 (4)	41 (18)
滑川町	1				1				7 (1)	2 (2)	11 (3)
嵐山町					4				8 (4)	1 (1)	13 (5)
小川町					2	1	1 (1)		8 (4)	2 (2)	14 (7)
吉見町	1 (1)						3 (1)		11 (5)	1	16 (7)
ときがわ町	1 (1)		1 (1)						2		4 (2)
東秩父村											0 (0)
合 計	8 (5)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	9 (0)	2 (1)	11 (5)	0 (0)	55 (20)	11 (9)	99 (42)

() は建物火災の件数

令和7年の主な火災

区 分 月	発 生 場 所	火 災 種 別	焼 損 面 積 (単 位 m ²)	損 害 額 (単 位 千 円)	死 者
1 月	東松山市幸町	建物	80	3,314	1
2 月	東松山市松山	建物	83	24,312	
2 月	東松山市松葉町	建物	117	11,348	1
2 月	東松山市上野本	建物	365	23,937	
3 月	小川町中爪	建物	1,326	139,452	
6 月	小川町大塚	建物	136	27,330	2
6 月	小川町青山	建物	228	27,525	
8 月	東松山市松葉町	建物	77	2,257	1
9 月	小川町ひばり台	その他		164	1
1 2 月	滑川町山田	建物	150	16,917	1

(死者の発生した火災又は損害額2千万円以上の火災)

救急・救助

令和7年度防火ポスター展

吉見町長賞



吉見町立東第一小学校4年生 若松 涼介 さん

月 別 救 急 件 数

(令和7年1月～令和7年12月)

種 別 月 別		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1 月	出動件数	1,128	6			49	10	4	172	2	9	773	103
	搬送人員	939	2			44	10	4	152		6	624	97
2 月	出動件数	891	14			38	13	4	123	3	11	602	83
	搬送人員	760	3			37	13	4	107	2	7	512	75
3 月	出動件数	931	7			40	6	5	129	5	7	633	99
	搬送人員	791				36	6	5	108	2	5	542	87
4 月	出動件数	906	6			63	8	11	147	1	7	558	105
	搬送人員	775				56	8	11	124	1	6	470	99
5 月	出動件数	833	4		1	51	11	8	122	5	10	520	101
	搬送人員	735	3			56	11	7	113	3	6	439	97
6 月	出動件数	970	7			60	16	11	145	7	6	623	95
	搬送人員	794	3			52	15	10	129	3	4	500	78
7 月	出動件数	1,022	3			61	24	6	121	1	10	693	103
	搬送人員	855				55	23	6	106		6	571	88
8 月	出動件数	1,059	9			63	15	7	153	1	8	703	100
	搬送人員	890	1			60	15	7	140	1	3	573	90
9 月	出動件数	930	6			53	13	11	147	3	8	596	93
	搬送人員	782				44	13	10	127	2	4	497	85
10 月	出動件数	892	3			54	6	7	158	4	7	537	116
	搬送人員	778				52	6	7	148	1	3	455	106
11 月	出動件数	1,049	6			72	6	4	168	5	8	670	110
	搬送人員	921	1			68	6	4	155	4	5	578	100
12 月	出動件数	1,069	13			62	10	5	173	2	10	682	112
	搬送人員	937	3			78	10	5	159	1	4	581	96
合 計	出動件数	11,680	84	0	1	666	138	83	1,758	39	101	7,590	1,220
	搬送人員	9,957	16	0	0	638	136	80	1,568	20	59	6,342	1,098

市 町 村 別 救 急 出 動 件 数

(令和7年1月～令和7年12月)

種 別 市町村		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
東松山市	7年	6,001	34			338	60	48	852	25	53	3,813	778
	6年	5,979	25		1	317	52	47	879	28	69	3,802	759
	比較	22	9		-1	21	8	1	-27	-3	-16	11	19
滑川町	7年	1,014	8			68	10	9	162	3	10	720	24
	6年	1,089	7			70	15	9	168	4	10	778	28
	比較	-75	1			-2	-5	0	-6	-1	0	-58	-4
嵐山町	7年	1,009	13			66	24	9	150	3	4	687	53
	6年	1,103	11	2	2	65	19	6	180	6	15	736	61
	比較	-94	2	-2	-2	1	5	3	-30	-3	-11	-49	-8
小川町	7年	1,773	16			76	12	5	254	3	15	1,069	323
	6年	1,763	4		3	67	11	5	241	4	20	1,132	276
	比較	10	12		-3	9	1	0	13	-1	-5	-63	47
吉見町	7年	1,013	11			66	18	9	178	4	7	703	17
	6年	948	14	1	1	69	18	12	163	2	10	635	23
	比較	65	-3	-1	-1	-3	0	-3	15	2	-3	68	-6
ときがわ町	7年	681	2			40	12	2	119	1	11	471	23
	6年	715	7			25	12	1	134	2	4	505	25
	比較	-34	-5			15	0	1	-15	-1	7	-34	-2
東秩父村	7年	186				12	2	1	42		1	126	2
	6年	189	1			11	1		32	1	2	140	1
	比較	-3	-1			1	1	1	10	-1	-1	-14	1
合 計	7年	11,677	84	0	0	666	138	83	1,757	39	101	7,589	1,220
	6年	11,786	69	3	7	624	128	80	1,797	47	130	7,728	1,173
	比較	-109	15	-3	-7	42	10	3	-40	-8	-29	-139	47

※管外出場件数（令和6年2件と令和7年3件）については、計上されていません。
 ※関越自動車道で発生した救急件数は東松山市と嵐山町にそれぞれ計上されています。

救急隊員の行った応急処置状況

(令和7年1月～令和7年12月)

処置状況 種 別	応 対 急 象 処 人 置 員	止 血	固 定	心 肺 蘇 生	気 道 確 保	気 道 確 保 器 具 を 用 い た	除 細 動	静 脈 路 確 保 (輸 液)	薬 剤 投 与	心 電 図	酸 素 吸 入	保 温	被 覆	そ の 他	合 計
急 病	6,342	35	20	216	273	98	29	269	115	4,034	1,379	2,836	31	1,184	10,421
交 通	638	20	253	2	4	1		3		133	31	175	137	120	878
一般負傷	1,568	138	206	12	18	4		10	11	391	81	587	406	316	2,176
そ の 他	1,409	25	39	11	18	3		12	8	572	312	603	65	229	1,894
合 計	9,957	218	518	241	313	106	29	294	134	5,130	1,803	4,201	639	1,849	15,369

傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

(令和7年1月～令和7年12月)

種別 程度別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				1			6		6	121	1	135
重 症	2			18	7	1	76	1	9	618	206	938
中 等 症	5			162	51	14	665	2	24	3,188	828	4,939
軽 症	9			457	78	65	821	17	20	2,415	63	3,945
そ の 他												0
合 計	16	0	0	638	136	80	1,568	20	59	6,342	1,098	9,957

年 齢 ・ 区 分 別 搬 送 人 員

(令和7年1月～令和7年12月)

種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児							1			3	12	16
乳 幼 児				8			62			237	11	318
少 年				41	1	53	36		2	144	10	287
成 人	8			399	113	22	295	13	51	1,661	292	2,854
高 齢 者	8			190	22	5	1,174	7	6	4,297	773	6,482
合 計	16	0	0	638	136	80	1,568	20	59	6,342	1,098	9,957

時 間 別 出 動 件 数

(令和7年1月～令和7年12月)

種 別 時 間	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
0 ～ 2	464	4			18	1		58	5	6	352	20
2 ～ 4	374	2			7	1		32	3	10	308	11
4 ～ 6	424	5			17			52	1	7	329	13
6 ～ 8	813	3			42	8		110	2	11	616	21
8 ～ 10	1,425	10			70	22	5	268	4	8	887	151
10 ～ 12	1,544	9			98	35	24	231	3	7	883	254
12 ～ 14	1,478	9			93	27	17	214	2	11	843	262
14 ～ 16	1,282	7		1	80	17	14	209	3	12	772	167
16 ～ 18	1,212	11			101	8	13	176	7	7	724	165
18 ～ 20	1,146	5			88	10	7	201	2	8	738	87
20 ～ 22	834	13			31	6	3	119	1	9	614	38
22 ～ 24	684	6			21	3		88	6	5	524	31
合 計	11,680	84	0	1	666	138	83	1,758	39	101	7,590	1,220

曜 日 別 出 動 件 数

(令和7年1月～令和7年12月)

種 別 曜 日	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
月 曜 日	1,824	14			102	33	9	247	5	17	1,199	198
火 曜 日	1,696	14			90	28	11	254	2	18	1,068	211
水 曜 日	1,653	13			77	24	3	221	3	13	1,075	224
木 曜 日	1,655	9			107	22	11	266	9	13	1,029	189
金 曜 日	1,714	8		1	97	19	7	226	7	15	1,133	201
土 曜 日	1,577	13			107	9	12	281	3	7	1,002	143
日 曜 日	1,561	13			86	3	30	263	10	18	1,084	54
合 計	11,680	84	0	1	666	138	83	1,758	39	101	7,590	1,220

病 院 別 搬 送 人 員

(令和7年1月～令和7年12月)

月 別 病 院 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
管 内 病 院													
東松山市立市民病院	160	128	132	126	114	142	157	162	139	136	163	156	1,715
小川赤十字病院	162	128	115	130	131	123	153	156	140	141	156	170	1,705
埼玉成恵会病院	100	87	98	96	85	109	97	123	93	95	113	122	1,218
東松山医師会病院	69	65	78	64	71	65	72	87	76	68	63	58	836
シャローム病院	43	31	30	24	19	31	28	31	37	24	23	23	344
武蔵嵐山病院	17	16	14	29	17	26	30	24	22	25	25	25	270
瀬川病院	17	5	5	6	3	3	6	6	3	8	5	5	72
大谷整形外科病院	14	8	12	6	6	10	8	6	9	8	9	8	104
宏仁会小川病院					1	1	1		1				4
森田クリニック	3	2		1	1		1	1	1	2	3	1	16
たばた小児科医院			1				1		1	1			4
東松山病院			1			1					1	3	6
その他管内病院	6	9		6	3	2	3	3	5	3	3	4	47
小 計	591	479	486	488	451	513	557	599	527	511	564	575	6,341
管 外 病 院													
埼玉医科大学病院	72	52	73	58	67	69	68	65	56	59	84	74	797
埼玉医科大学 国際医療センター	56	48	64	62	44	52	55	54	49	54	62	68	668
埼玉県立循環器・呼吸器 病 セ ン タ ー	54	46	43	50	50	49	42	42	30	39	55	63	563
行田総合病院	25	33	39	26	26	38	34	21	19	24	39	36	360
埼玉医科大学 総合医療センター	33	27	25	29	25	20	25	35	24	24	32	36	335
深谷赤十字病院	22	21	18	14	22	9	13	14	20	15	19	13	200
熊谷総合病院	15	9	9	18	13	13	9	19	15	16	16	16	168
その他管外病院	71	45	34	30	37	31	52	41	42	36	50	56	525
小 計	348	281	305	287	284	281	298	291	255	267	357	362	3,616
合 計	939	760	791	775	735	794	855	890	782	778	921	937	9,957

関越自動車道救急出動状況

(令和7年1月～令和7年12月)

月別 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
交通	3	5			7	2	4	6	5	5	4	6	47
急病		2					1	5		2		1	11
一般負傷												1	1
その他					1				2				3
合計	3	7	0	0	8	2	5	11	7	7	4	8	62

事故種別出動件数及び救助人員

(令和7年1月～令和7年12月)

事故種別 件数	火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機よ 械る 等事 に故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	そ の 他	合 計
	建物	建以 物外									
出動件数	38	21	50	1		2	102	5		99	318
活動件数	38	21	29			2	74	3		20	187
救助人員	7		28			1	35			4	75

事故種別発生場所別救助人員

(令和7年1月～令和7年12月)

事故種別 発生場所		火災		交通 事故	水難 事故	自然 災害	機よ 械る 等事 に故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂事 故	そ の 他	合 計
		建物	建以 物外									
屋内	住居	25						99	1		51	176
	その他の屋内	8						2			7	17
屋	道路		2	5							3	10
	その他の道路		8	37							20	65
水面	内水面			2	1						1	4
	外水面											0
外	山岳			1							2	3
	その他の屋外		16	4			2	1	4		11	38
地下												0
その他				1							4	5
合計		33	26	50	1	0	2	102	5	0	99	318

救命講習実施状況

普通救命講習Ⅰ				令和7年1月～令和7年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	1月11日(土)	吉見分署	18	9	5月3日(土)	小川消防署	9
2	1月26日(日)	滑川分署	19	10	10月12日(日)	東松山消防署	16
3	2月15日(土)	吉見分署	19	11	10月13日(月)	小川消防署	2
4	2月22日(土)	嵐山分署	6	12	11月23日(日)	東松山消防署	19
5	3月1日(土)	滑川分署	18	13	11月24日(月)	小川消防署	19
6	3月12日(水)	松山北分署	3	14	12月6日(土)	東松山消防署	20
7	3月16日(日)	小川消防署	21	15	12月21日(日)	小川消防署	5
8	4月26日(土)	小川消防署	12				
合計		実施 15回 206名(東松山 8回・小川 7回)					

普通救命講習Ⅱ				令和7年1月～令和7年12月	
実施年月日		実施会場	講習人員		
1	2月6日(木)	滑川分署	5		
合計		実施 1回 5名（東松山 1回・小川 0回）			

普通救命講習Ⅲ				令和7年1月～令和7年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	4月29日(火)	滑川分署	7	3	6月22日(日)	小川消防署	17
2	5月24日(土)	ハルム松ノ木保育園	16	4	11月13日(木)	小川町子育て総合センター	17
合計		実施 4回 57名(東松山 2回・小川 2回)					

上級救命講習				令和7年1月～令和7年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	6月15日(日)	東松山消防署	17	2	9月14日(日)	小川消防署	20
合計		実施 2回 37名(東松山 1回・小川 1回)					

救命入門コース				令和7年1月～令和7年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	1月25日(土)	吉見町立第二小学校	12	3	6月28日(土)	青鳥公会堂	20
2	2月2日(日)	唐子地区体育館	68	4	10月12日(日)	久米田集会所	19
合計		実施 4回 119名(東松山 4回・小川 0回)					

救命講習実施状況

救命入門コース（45分）				令和7年1月～令和7年12月			
実施年月日		実施会場	講習人員	実施年月日		実施会場	講習人員
1	1月25日（土）	吉見町立東第二小学校	26	34	5月26日（月）	ハルムこどもえん	11
2	2月3日（月）	清澄ゴルフ倶楽部	72	35	5月26日（月）	小川町立竹沢小学校	10
3	2月4日（火）	生き生きふれあいプラザやすらぎ	9	36	6月3日（火）	東松山市立市の川小学校	22
4	2月12日（水）	ときがわ町立玉川中学校	37	37	6月7日（土）	仲よし保育園	20
5	2月19日（水）	東武鉄道株式会社 東松山駅	73	38	6月9日（月）	東松山市立新宿小学校	28
6	2月20日（木）	嵐山町立嵐山幼稚園	14	39	6月11日（水）	よしみけやき保育所	25
7	2月21日（金）	こどもデイサービスうまくら	5	40	6月12日（木）	よしみけやき保育所	24
8	2月28日（金）	東松山カントリークラブ	20	41	6月12日（木）	第二ハルム保育園	23
9	2月28日（金）	東松山市子育て支援センターマーレ	7	42	6月12日（木）	小川町スポーツ推進協議会	25
10	3月3日（月）	東松山市市民福祉センター	13	43	6月18日（水）	きらめきクラブたかさか	17
11	3月13日（木）	サニーライフ東松山	12	44	6月19日（木）	ハルム松ノ木保育園	9
12	3月14日（金）	太陽インキ製造株式会社	18	45	6月21日（土）	上岡集会所	16
13	3月18日（火）	CCI埼玉第2工場	15	46	6月25日（水）	児童デイサービスほほえみクラブ	47
14	3月19日（水）	株式会社 松屋フーズ	15	47	6月25日（水）	東松山市立まつやま保育園	33
15	3月22日（土）	グループホームしんごう	6	48	6月27日（金）	きらめきクラブしんめい	23
16	3月24日（月）	(株)バンテックイースト	23	49	6月27日（金）	埼玉センコーロジサービス株式会社	13
17	4月4日（金）	東松山市立白山中学校	19	50	6月30日（月）	株式会社YDM	27
18	4月4日（金）	東松山市立松山第一小学校	25	51	7月4日（金）	吉見町立よしみけやき保育所	8
19	4月4日（金）	東秩父村立東秩父中学校	18	52	7月4日（金）	ときがわ分署	9
20	4月5日（土）	東松山市立わかまつ保育園	21	53	7月7日（月）	縁キッズ東松山	6
21	4月16日（水）	東秩父村立槻川小学校	12	54	7月7日（月）	株式会社 グリーンファームらばん	19
22	4月28日（月）	吉見町立吉見中学校	24	55	7月9日（水）	まにらぼ PLASE	9
23	4月30日（水）	東松山市立野本小学校	21	56	7月11日（金）	株式会社 グリーンファームらばん	20
24	5月1日（木）	東松山市立大岡小学校	12	57	7月15日（火）	株式会社 グリーンファームらばん	27
25	5月8日（木）	埼玉県立東松山特別支援学校	24	58	7月20日（日）	唐子地区体育館	75
26	5月12日（月）	吉見町立北小学校	14	59	7月29日（火）	株式会社ファインシンター	17
27	5月13日（火）	ウィズ・ユー嵐山	14	60	8月1日（金）	東松山市立たかさか保育園	19
28	5月15日（木）	東松山市立からこ保育園	8	61	8月9日（土）	生活介護キャンディ	16
29	5月16日（金）	東松山市立桜山小学校	28	62	8月20日（水）	ボッシュ株式会社 むさし工場	14
30	5月20日（火）	東松山市シルバー人材センター	24	63	8月25日（月）	志賀学童保育室てんとう虫クラブ	65
31	5月20日（火）	埼玉県立東松山特別支援学校	57	64	9月9日（火）	東松山市総合教育センター	10
32	5月22日（木）	東松山市立からこ保育園	7	65	9月22日（月）	東松山市立図書館	26
33	5月24日（土）	アサヒキッズランド嵐山花見台保育園	9	66	9月25日（木）	大沢運送株式会社	13

救命講習実施状況

67	10月7日(火)	東松山市きらめき市民大学	19	77	11月13日(木)	東松山市立のもと保育園	12
68	10月10日(金)	ココット小川町子育て総合センター	10	78	11月18日(火)	太陽ホールディングス	13
69	10月16日(木)	吉見学園	18	79	11月21日(金)	ときがわ町立玉川中学校	38
70	10月17日(金)	むさしの青年寮	19	80	11月26日(水)	滑川分署	7
71	10月19日(日)	住宅防火モデル地区(滑川町福田地区)	20	81	11月26日(水)	一般社団法人 あんど	52
72	10月19日(日)	住宅防火モデル地区(勤労福祉センター)	30	82	11月26日(水)	公益社団法人 小川町シルバー人材センター	17
73	10月25日(土)	株式会社 日商 東松山営業所	10	83	12月2日(火)	森林園	22
74	10月27日(月)	東松山市立高坂図書館	10	84	12月4日(木)	森林園	30
75	10月31日(金)	福祉サービスときがわ	14	85	12月4日(木)	嵐山分署	3
76	11月10日(月)	日本製紙株式会社	14	86	12月8日(月)	埼玉県平和資料館	10
合計		実施 86回 1,796名(東松山 63回・小川 23回)					

応急手当普及員講習会							令和7年1月～令和7年12月				
実施年月日			実施会場		講習人員	実施年月日			実施会場		講習人員
1	7月28日(月)		東松山消防署（教職員対象）		16	2	7月31日(木)		東松山消防署（教職員対象）		14
	7月29日(火)						8月1日(金)				
合計			実施 2回 30名（東松山 2回・小川 0回）								

救命講習実施状況

令和7年計	普通救命講習Ⅰ	実施	15回	206名
	普通救命講習Ⅱ	実施	1回	5名
	普通救命講習Ⅲ	実施	4回	57名
	上級救命講習	実施	2回	37名
	救命入門コース	実施	4回	119名
	救命入門コース（45分）	実施	86回	1,796名
	応急手当普及員講習	実施	2回	30名

平成6年～令和7年累計	普通救命講習Ⅰ	実施	1,277回	22,542名
	普通救命講習Ⅱ	実施	63回	1,001名
	普通救命講習Ⅲ	実施	53回	584名
	上級救命講習	実施	105回	1,496名
	救命入門コース	実施	143回	2,910名
	救命入門コース（45分）	実施	663回	14,849名
	応急手当普及員講習	実施	17回	238名

- ※平成6年 講習開始 普通救命講習Ⅰ 上級救命講習
- ※平成18年 講習開始 普通救命講習Ⅱ
- ※平成24年 講習開始 普通救命講習Ⅲ 救命入門コース
- ※平成26年 講習開始 応急手当普及員講習会
- ※平成28年 講習開始 救命入門コース（45分）

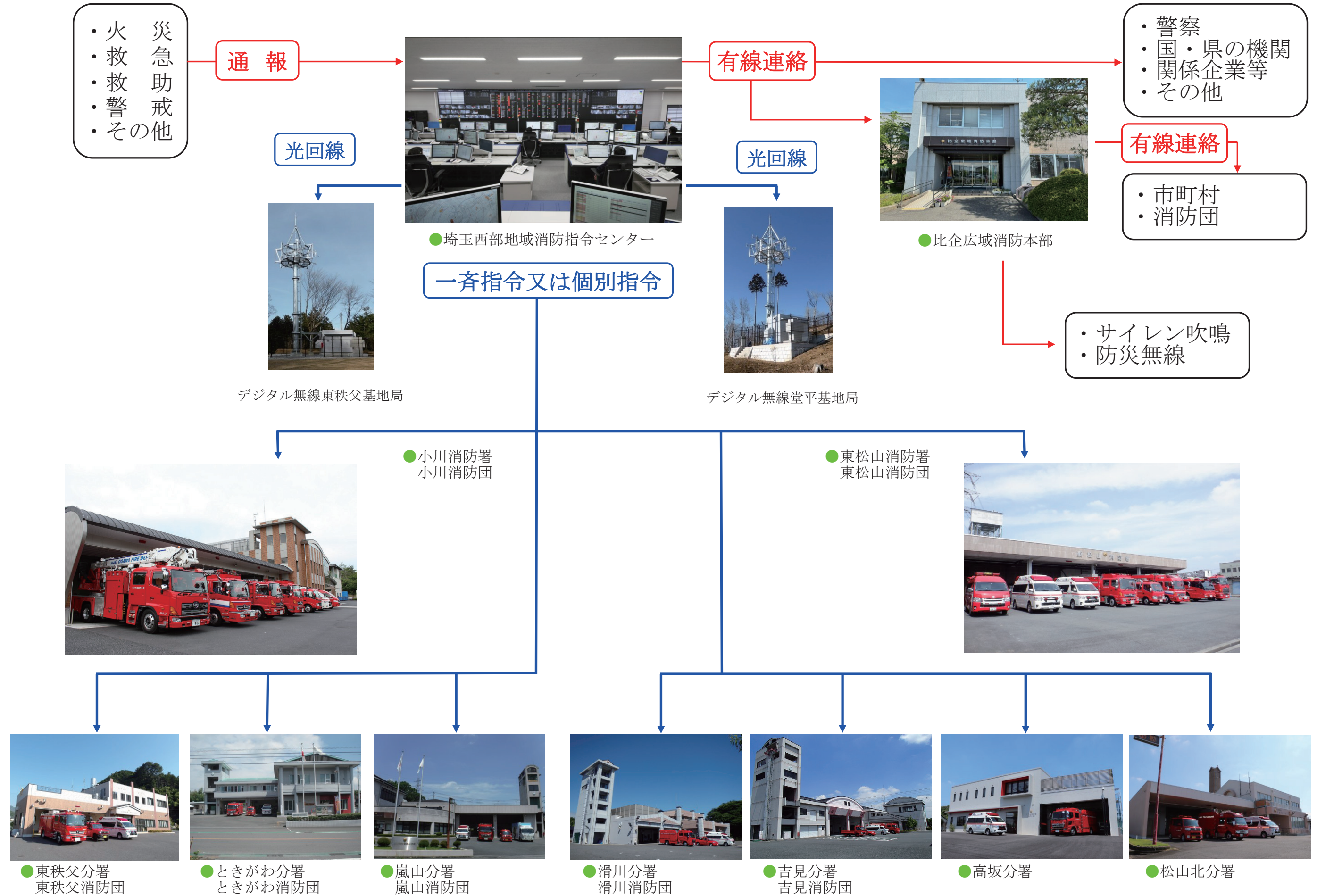
通信・気象

令和7年度防火ポスター展
ときがわ町長賞



ときがわ町立明覚小学校4年生 福田 心込 さん

消防通信系統図



消 防 用 無 線 施 設 の 状 況

(令和8年4月1日現在)

基 地 局	周 波 数	出 力	通 信 方 式
さいたませいぶ	統制波 { 1ch 2ch 3ch 主運用波 活動波 { 1ch 2ch 3ch	基地局 堂平局 1 W 東秩父局 0.5 W	2波半複信方式
移 動 局 数		移動局 車載型 5 W 可搬型 5 W 携帯型 1 W 卓上型 5 W	
車載型 47局 可搬型 4局 携帯型 52局 卓上型 2局		署活系 1 W	
署活系103局	全20ch	400MHZ帯	

移動局

所属	番号	呼 出 名 称	所属	番号	呼 出 名 称	所属	番号	呼 出 名 称
消 防 本 部	1	ひききょうどう 20	松 山 北 分 署	37	まつやまきた 1	小 川 消 防 署	73	おがわはしご 102
	2	ひききょうどう 21		38	まつやまきた 101		74	おがわすいそう 1
	3	ひきよぼう 1		39	まつやまきた 102		75	おがわすいそう 101
	4	ひきよぼう 2		40	まつやまきたれんらく 1		76	おがわすいそう 102
	5	ひきしえん 1		41	まつやまきたきゅうきゅう 1		77	おがわしれい 1
	6	ひきしえん 101		42	まつやまきたきゅうきゅう 101		78	おがわしれい 2
	7	ひきしょうぼう 101		43	たかさか 1		79	おがわしれい 101
	8	ひききゅうきゅう 1		44	たかさか 101		80	おがわしき 1
東 松 山 消 防 署	9	まつやまかがく 1	高 坂 分 署	45	たかさか 102	嵐 山 分 署	81	おがわしき 2
	10	まつやまかがく 101		46	たかさかれんらく 1		82	おがわしき 101
	11	まつやまかがく 102		47	たかさかきゅうきゅう 1		83	おがわきざい 1
	12	まつやま 2		48	たかさかきゅうきゅう 101		84	おがわきゅうきゅう 1
	13	まつやま 201	吉 見 分 署	49	よしみ 1		85	おがわきゅうきゅう 101
	14	まつやま 202		50	よしみ 101		86	おがわちようさ 1
	15	まつやまきゅうじょ 1		51	よしみ 102		87	おがわちようさ 101
	16	まつやまきゅうじょ 101		52	よしみれんらく 1	と き が わ 分 署	88	らんざんかがく 1
	17	まつやまきゅうじょ 102	滑 川 分 署	53	よしみきざい 1		89	らんざんかがく 101
	18	まつやまはしご 1		54	よしみきゅうきゅう 1		90	らんざんかがく 102
	19	まつやまはしご 101		55	よしみきゅうきゅう 101		91	らんざんれんらく 1
	20	まつやまはしご 102	小 川 消 防 署	56	なめがわ 1		92	らんざんきゅうきゅう 1
	21	まつやますいそう 1		57	なめがわ 101		93	らんざんきゅうきゅう 101
	22	まつやますいそう 101		58	なめがわ 102	東 秩 父 分 署	94	ときがわ 1
	23	まつやますいそう 102		59	なめがわれんらく 1		95	ときがわ 101
	24	まつやましれい 1	小 川 消 防 署	60	なめがわきゅうきゅう 1		96	ときがわ 102
	25	まつやましれい 2		61	なめがわきゅうきゅう 101		97	ときがわれんらく 1
	26	まつやましれい 101		62	おがわ 1		98	ときがわきゅうきゅう 1
	27	まつやましき 1		63	おがわ 101		99	ときがわきゅうきゅう 101
	28	まつやましき 2	消 防 署	64	おがわ 102		100	ひがしちちぶ 1
	29	まつやましき 101		65	おがわ 2		101	ひがしちちぶ 101
	30	まつやまきざい 1		66	おがわ 201		102	ひがしちちぶ 102
	31	まつやまきゅうきゅう 1		67	おがわ 202		103	ひがしちちぶれんらく 1
	32	まつやまきゅうきゅう 101	署	68	おがわきゅうじょ 1		104	ひがしちちぶきゅうきゅう 1
	33	まつやまきゅうきゅう 2		69	おがわきゅうじょ 101		105	ひがしちちぶきゅうきゅう 101
	34	まつやまきゅうきゅう 201		70	おがわきゅうじょ 102			
	35	まつやまちようさ 1		71	おがわはしご 1			
	36	まつやまちようさ 101		72	おがわはしご 101			

1 1 9 番受信状況

(令和7年1月～令和7年12月)

月別 区分		合 計	災 害 通 報				病 院 紹 介	問 火 災 救 急 介 護	通 報 訓 練	い た ず ら	ま ち が い	テ ス ト	そ の 他	転 送
			火 災	救 急	救 助	そ の 他								
1 月	固定電話	272	1	191	1	1	1	1	4	1	6	9	56	
	携帯電話	758	9	527	12	9	23	3	9	10	53	1	82	20
	I P 電話	397	3	344			4	2	18		2	1	23	
2 月	固定電話	205	4	130	1	1	2		10	4	8	3	42	
	携帯電話	646	36	427	7	7	11	3	15	4	33		92	11
	I P 電話	318	4	258	2			3	29	1	5		15	1
3 月	固定電話	291	1	146		2	2	2	17	1	15	21	83	1
	携帯電話	611	15	443	7	7	7	3	14	3	38	1	61	12
	I P 電話	361	2	281	1		5	1	52	1	5	3	10	
4 月	固定電話	224		128		1	2	2	3	3	15	6	64	
	携帯電話	599	10	451	9	5	9		7	6	38	2	51	11
	I P 電話	317	1	266			2		26		7	2	12	1
5 月	固定電話	198	3	110		2		2	7	4	16	5	49	
	携帯電話	623	9	427	4	6	13	4	14	5	51		74	16
	I P 電話	304	2	238	2	2	3		44		4		9	
6 月	固定電話	233	1	127	1	1			8	3	11	10	71	
	携帯電話	724	9	508	11	5	14	4	16		62	1	81	13
	I P 電話	317	3	264	2		2	1	32	2	4		7	
7 月	固定電話	236	2	134	1		6	1	7	6	15	8	56	
	携帯電話	711	6	506	8	6	18	1	5	12	47		90	12
	I P 電話	336	1	290	1	1	5		18		2		18	
8 月	固定電話	208		133	1	2			3	2	13	14	39	1
	携帯電話	844	27	589	7	7	7	7	8	9	74		93	16
	I P 電話	315	3	274			2	1	17		7		10	1
9 月	固定電話	201	1	114	2		2		5	3	28	3	43	
	携帯電話	638	3	460	7	10	7	4	16	3	55		64	9
	I P 電話	363	1	293			4	1	46	1	3	1	13	
1 0 月	固定電話	269		140	2		2	1	14	3	16	14	77	
	携帯電話	612	6	425	11	6	17	1	29	5	52		44	16
	I P 電話	344	2	271	1		2	2	50	1	6	1	8	

各種通報に災害同報が含まれます。

1 1 9 番受信状況

(令和7年1月～令和7年12月)

月別 区分		合 計	災 害 通 報				病 院 紹 介	問 火 災 合 わ せ 急	通 報 訓 練	い た ず ら	ま ち が い	テ ス ト	そ の 他	転 送
			火 災	救 急	救 助	そ の 他								
1 1 月	固定電話	281	1	140	1				9	9	28	38	55	
	携帯電話	761	11	546	9	10	15	4	32	6	38		74	16
	I P 電話	391		303	2			1	58		6		20	1
1 2 月	固定電話	295	3	160	1	2	1		7	5	25	29	61	1
	携帯電話	748	15	544	15	8	10	7	17	3	46		73	10
	I P 電話	349	4	284	2	2	1		40	1	4		11	
合 計	固定電話	2,913	17	1,653	11	12	18	9	94	44	196	160	696	3
	携帯電話	8,275	156	5,853	107	86	151	41	182	66	587	5	879	162
	I P 電話	4,112	26	3,366	13	5	30	12	430	7	55	8	156	4
月平均	固定電話	242.8	1.4	137.8	0.9	1.0	1.5	0.8	7.8	3.7	16.3	13.3	58.0	0.3
	携帯電話	689.6	13.0	487.8	8.9	7.2	12.6	3.4	15.2	5.5	48.9	0.4	73.3	13.5
	I P 電話	342.7	2.2	280.5	1.1	0.4	2.5	1.0	35.8	0.6	4.6	0.7	13.0	0.3

NET 1 1 9 緊急通報システム受信状況（埼玉西部地域消防指令センター）

(令和7年1月～令和7年12月)

月別 区分		合 計	災 害 通 報				病 院 紹 介	問 火 災 合 わ せ 急	通 報 訓 練	い た ず ら	ま ち が い	テ ス ト	そ の 他	転 送
			火 災	救 急	救 助	そ の 他								
1 月		13							3				10	
2 月		8											8	
3 月		11											11	
4 月		15		1					1				13	
5 月		16		1								2	13	
6 月		15							2				13	
7 月		16							11				5	
8 月		7											7	
9 月		10											10	
1 0 月		22										1	21	
1 1 月		16							2			4	10	
1 2 月		20		1									19	
合 計		169	0	3	0	0	0	0	19	0	0	7	140	0

比企広域管内からの通報はなし。管内利用者数は101名（令和8年4月1日現在）

関越自動車道専用受信状況

(令和7年1月～令和7年12月)

月別 区分	合 計	災 害 通 報				病 院 紹 介	間 火 い 災 合 救 わ せ 急	通 報 訓 練	い た ず ら	ま ち が い	テ ス ト	そ の 他	転 送
		火 災	救 急	救 助	そ の 他								
1 月	1		1										
2 月	0												
3 月	0												
4 月	0												
5 月	2		2										
6 月	0												
7 月	0												
8 月	1		1										
9 月	3	1	1	1									
10 月	2		2										
11 月	1		1										
12 月	3		3										
合 計	13	1	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

緊急通報システム受信状況

(令和7年1月～令和7年12月)

月別 区分	合 計	災 害 通 報				病 院 紹 介	間 火 い 災 合 救 わ せ 急	通 報 訓 練	い た ず ら	ま ち が い	テ ス ト	そ の 他	転 送
		火 災	救 急	救 助	そ の 他								
1 月	17		4							3	7	3	
2 月	13		10							3			
3 月	28		9							1	17	1	
4 月	17		5	1						4	7		
5 月	11		6	1						1	2	1	
6 月	27		9							1	8	9	
7 月	17		7							1	7	2	
8 月	16		2							2	12		
9 月	9		5							2	2		
10 月	26		4							5	16	1	
11 月	54		6	1						4	39	4	
12 月	58		10	3					1	12	28	4	
合 計	293	0	77	6	0	0	0	0	1	39	145	25	0

管内市町村別緊急通報システム登録者数

(令和8年4月1日現在)

東 松 山 市	415
滑 川 町	31
嵐 山 町	35
小 川 町	125
吉 見 町	113
と き が わ 町	10
東 秩 父 村	56
合 計	785

受信別状況(119番通報を除く)

(令和7年1月～令和7年12月)

区分 月別	合 計	一 般 加 入				警 察 専 用 線				駆 け 付 け				自 己 覚 知			
		火 災	救 急	救 助	そ の 他	火 災	救 急	救 助	そ の 他	火 災	救 急	救 助	そ の 他	火 災	救 急	救 助	そ の 他
1 月	47		3	1	4	3	18	5	6		5				2		
2 月	37	1	2	1		3	14	5	6		3				1		1
3 月	44		2		3	2	12	10	6		4		2		2		1
4 月	39	3	3	1		2	16	7	3		4						
5 月	30	1	4			3	10	4	4		1				1		2
6 月	48		3	1	3	4	20	9	4		2				1		1
7 月	53	1	4		1	2	27	9			9						
8 月	43		3			3	22	3	7		5						
9 月	53		4	1	1	2	16	7	12		5				1		4
10 月	52	2	4	2	4		18	5	11								6
11 月	41		7		2	1	14	7	3		7						
12 月	46	1	5	2	4	3	19	7	3		2						
合 計	533	9	44	9	22	28	206	78	65	0	47	0	2	0	8	0	15

気象の注意報・警報の受理状況

(令和7年1月～令和7年12月)

種別 月別	合 計	強 風	暴 風	乾 燥	大 雨		洪 水		雷	濃 霧	霜	大 雪		着 雪	風 雪	低 温
		注 意 報	警 報	注 意 報	注 意 報	警 報	注 意 報	警 報	注 意 報	注 意 報	注 意 報	注 意 報	警 報	注 意 報	注 意 報	注 意 報
1 月	14	7		4					3							
2 月	13	8		3					1	1						
3 月	33	5		4					3	7	7	3	1	3		
4 月	29	1		4					7	10	7					
5 月	17	1		1					8	6	1					
6 月	19				3		2		8	6						
7 月	30				6	1	4	1	16	2						
8 月	22				2		1		18	1						
9 月	15				1		1		13							
10 月	5								2	3						
11 月	7	1		1					1	4						
12 月	9	4		3						2						
合 計	213	27	0	20	12	1	8	1	80	42	15	3	1	3	0	0

※東松山市に発令された注意報及び警報を記載。

消 防 団

令和7年度防火ポスター展
東秩父村長賞



東秩父村立槻川小学校4年生 吉田 愛梨 さん

比企広域市町村圏組合消防団の沿革

平成 4 年

4 月 1 日 東松山・小川両消防組合が統合し、比企広域市町村圏組合消防団として（定員、東松山消防団 93 名、滑川消防団 41 名、嵐山消防団 93 名、小川消防団 127 名、都幾川消防団 135 名、玉川消防団 70 名、吉見消防団 85 名、東秩父消防団 121 名、計 765 名）設置した。

〃 東松山消防団長に山岸喜男氏が就任する。

〃 滑川消防団長に石川地彦氏が就任する。

〃 嵐山消防団長に栗原昌次氏が就任する。

〃 小川消防団長に野沢恒雄氏が就任する。

〃 都幾川消防団長に山崎茂氏が就任する。

〃 玉川消防団長に関口定男氏が就任する。

〃 吉見消防団長に神田新一郎氏が就任する。

〃 東秩父消防団長に旭淑男氏が就任する。

9 月 19 日 小川消防団（第 1 分団第 2 部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A 型）を更新配備した。

10 月 1 日 滑川消防団長に鈴木理之氏が就任する。

平成 5 年

1 月 31 日 吉見消防団（第 1 分団第 2 部）機械器具置場を改築する。

4 月 1 日 玉川消防団長に前田進一氏が就任する。

10 月 12 日 嵐山消防団（第 1 分団第 3 部）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ 型）を更新配備した。

〃 小川消防団（第 2 分団第 1 部）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ 型）を更新配備した。

平成 6 年

3 月 31 日 吉見消防団（第 1 分団第 3 部）機械器具置場を改築する。

4 月 1 日 東松山消防団長に加藤敏夫氏が就任する。

〃 小川消防団長に森昭幸氏が就任する。

〃 東秩父消防団長に山崎良雄氏が就任する。

11 月 16 日 吉見消防団（第 1 分団第 1 部）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ 型）を更新配備した。

〃 滑川消防団（第 2 分団）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ 型）を更新配備した。

11 月 25 日 嵐山消防団（第 1 分団第 2 部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A 型）を更新配備した。

11 月 30 日 嵐山消防団（第 1 分団第 2 部）機械器具置場を移転新築する。

12 月 9 日 都幾川消防団（第 2 分団第 4 部）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ 型）を更新配備した。

平成 7 年

3 月 31 日 吉見消防団（第 2 分団第 2 部）機械器具置場を移転新築する。

4 月 1 日 東松山消防団長に中島俊夫氏が就任する。

〃 嵐山消防団長に横瀬秀男氏が就任する。

〃 比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

		の一部を改正する。消防団員の定数765名を745名に改めた。 (都幾川消防団員定数135名を115名に改めた。)
	7月21日	東松山消防団(本部)に、指揮車(日産 バネットバン)を更新配備した。
	10月16日	小川消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	〃	吉見消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	11月4日	都幾川消防団(第1分団第1部)機械器具置場を木造2階建てに改築する。
	11月7日	都幾川消防団(第1分団第1部)に、水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)を更新配備した。
	11月9日	玉川消防団(第3分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成8年		
	3月6日	吉見消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
	3月31日	吉見消防団(第1分団第1部)機械器具置場を移転新築する。
	4月1日	東秩父消防団長に田中秀雄氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正する。 (東松山消防団本部長の階級を分団長に改めた。)
	10月18日	東秩父消防団(第1分団第3部)に、水槽車(3t)小型動力ポンプ付を更新配備した。
	10月29日	都幾川消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	〃	吉見消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	11月1日	東松山消防団(第4分団、第5分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成9年		
	4月1日	玉川消防団長に山口文明氏が就任する。
	5月2日	嵐山消防団(第2分団第2部)機械器具置場を移転新築する。
	10月7日	東松山消防団(第3分団、第6分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	10月22日	都幾川消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	〃	吉見消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	10月28日	玉川消防団(第2分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成10年		
	3月7日	東秩父消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
	3月31日	都幾川消防団(第1分団第2部)機械器具置場を移転新築する。
	4月1日	東松山消防団長に嶋野憲治氏が就任する。
	〃	都幾川消防団長に渡辺一美氏が就任する。
	9月19日	東秩父消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(小型動力ポンプ

		積載)を(財)日本消防協会より寄贈され配備した。
10月25日		東松山消防団(第1分団、第2分団)に、水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)を更新配備した。
11月1日		玉川消防団(第1分団)に、水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型・高圧ポンプ付)を更新配備した。
11月14日		東松山消防団(第2分団)機械器具置場を改築する。
11月19日		東秩父消防団(第2分団第3部)に、水槽車(小型動力ポンプ積載)を更新配備した。
12月25日		玉川消防団(第1分団)機械器具置場を移転新築する。
平成11年		
3月5日		滑川消防団、嵐山消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
4月1日		嵐山消防団長に吉場道雄氏が就任する。
10月13日		吉見消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
10月27日		小川消防団(第2分団第4部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成12年		
2月9日		東松山消防団、日本消防協会表彰竿頭綬を受章する。
4月1日		小川消防団長に福島貞夫氏が就任する。
	〃	吉見消防団長に秋庭雅之氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に市田勝氏が就任する。
7月31日		嵐山消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
	〃	都幾川消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
10月24日		小川消防団(第1分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成13年		
10月19日		吉見消防団(第2分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
10月31日		滑川消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備した。
平成14年		
3月17日		滑川消防団(第1分団第1部)機械器具置場を移転新築する。
4月1日		比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数745名を735名に改めた。
		(都幾川消防団員定数115名を105名に改めた。)
	〃	東松山消防団長に福田秀一氏が就任する。
	〃	滑川消防団長に小高俊男氏が就任する。
	〃	都幾川消防団長に小室敏夫氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に渡辺均氏が就任する。
8月21日		東松山消防団第22回埼玉県操法大会に出場し3位入賞する。
10月21日		東松山消防団(第3分団)機械器具置場を新築移転する。

11月8日	小川消防団（第1分団第4部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
平成15年	
2月27日	玉川消防団（第2分団）機械器具置場を木造2階建てに改築する。
3月6日	滑川消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
4月1日	比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数735名を743名に改めた。 （東松山消防団員定数93名を101名に改めた。）
〃	嵐山消防団長に吉野一男氏が就任する。
〃	玉川消防団長に堀口一敏氏が就任する。
〃	東松山消防団に女性消防団員10名を採用する。
〃	都幾川消防団に女性消防団員2名を採用する。
10月24日	東秩父消防団（第2分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
平成16年	
4月1日	比企広域市町村圏組合消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数743名を731名に改めた。 （東秩父消防団員定数を121名から109名に改めた。）
〃	埼玉県消防協会松山支部長に東松山消防団長福田秀一氏が就任する。
〃	埼玉県消防協会小川支部長に都幾川消防団長小室敏夫氏が就任する。
〃	吉見消防団長に長澤祥一氏が就任する。
〃	小川消防団長に金子敏氏が就任する。
〃	東秩父消防団長に福島重次氏が就任する。
〃	東秩父消防団に女性消防団員3名を採用する。
12月24日	東秩父消防団（第2分団第4部）に、水槽車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
平成17年	
4月1日	埼玉県消防協会松山支部と埼玉県消防協会小川支部が合併し埼玉県消防協会比企支部が発足する。支部長に都幾川消防団長の小室敏夫氏が就任する。
〃	小川消防団長に高倉俊明氏が就任する。
〃	玉川消防団長に小島浩氏が就任する。
9月22日	東秩父消防団（第1分団第1部、第1分団第2部）に、消防ポンプ自動車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
平成18年	
4月1日	都幾川消防団と玉川消防団が統合し、ときがわ消防団が発足する。
〃	ときがわ消防団長に小室敏夫氏が就任する。
〃	東秩父消防団長に奈良慎一郎氏が就任する。
〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数731名を744名に改めた。 （滑川消防団員定数を41名から54名に改めた。）
7月19日	東松山消防団（団本部）に、広報車（トヨタ ライトエース）を更新配備した。
平成19年	
4月1日	ときがわ消防団長に小島浩氏が就任する。

	〃	埼玉県消防協会比企支部長に東松山消防団長福田秀一氏が就任する。
平成20年	10月18日	嵐山消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	小川消防団（第2分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	ときがわ消防団（第3分団第3部）に、消防ポンプ自動車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
平成20年	4月1日	吉見消防団長に福田豊氏が就任する。
	〃	ときがわ消防団長に岡野友幸氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に富田兼司氏が就任する。
	8月1日	比企広域市町村圏組合消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正する。滑川消防団副団長1名を2名に改め、第2分団に1部を増部し、第2分団第1部及び第2分団第2部を配置する。
	10月1日	滑川消防団第2分団第2部、滑川町大字月輪地内に機械器具置場を新築する。
	〃	滑川消防団（第2分団第2部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	ときがわ消防団（第3分団第2部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	〃	東秩父消防団（第1分団第2部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	11月1日	東松山消防団長に松本洋一氏が就任する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に滑川消防団長小高俊男氏が就任する。
平成21年	1月23日	東秩父消防団（第1分団第1部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型）を更新配備した。
	8月11日	ときがわ消防団（団本部）に、広報車（トヨタ ノア）を配備した。
	10月8日	吉見消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	10月20日	嵐山消防団（第2分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	11月7日	東松山消防団第6分団、東松山市大字下野本地内に機械器具置場を新築する。
	11月30日	小川消防団（第2分団第2部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型）を更新配備した。
平成22年	3月17日	東秩父消防団（第2分団第2部）に、消防庁無償貸付車両（小型動力ポンプ積載車救助資機材搭載）を更新配備した。
	3月23日	小川消防団（第1分団第2部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水I-A型）を更新配備した。
	3月25日	小川消防団第2分団第3部、小川町大字青山地内に機械器具置場を新築移転する。
	4月1日	嵐山消防団長に長島登氏が就任する。
	〃	小川消防団長に石川雅昭氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の

		一部を改正する。 (ときがわ消防団第3分団を4部体制から2部体制に改めた。)
10月12日		吉見消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新 配備した。
平成23年		
3月3日		小川消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
3月26日		東松山消防団第1分団、東松山市大字松山地内に機械器具置場を新築移転す る。
平成24年		
1月27日		嵐山消防団第1分団第1部、嵐山町大字菅谷地内に機械器具置場を新築移転 する。
1月29日		東松山消防団第5分団、東松山市大字高坂地内に機械器具置場を新築移転す る。
3月5日		東松山消防団(第4分団、第5分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型) を更新配備した。
3月8日		吉見消防団(第1分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新 配備した。
4月1日		吉見消防団長に蓮見弘氏が就任する。
〃		滑川消防団長に井上章氏が就任する。
〃		ときがわ消防団長に杉田健司氏が就任する。
〃		東秩父消防団長に関根正明氏が就任する。
〃		比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の 一部を改正する。消防団員の定数744名を745名に改めた。 (滑川消防団員定数を54名から55名に改めた。)
〃		小川消防団に女性消防団員8名を採用する。
〃		埼玉県消防協会比企支部長に小川消防団長石川雅昭氏が就任する。
10月9日		滑川消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新 配備した。
平成25年		
3月4日		ときがわ消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を 更新配備した。
3月6日		ときがわ消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
3月12日		吉見消防団(第2分団第2部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新 配備した。
3月15日		小川消防団(第2分団第1部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新 配備した。
3月21日		東松山消防団(第3分団、第6分団)に、消防ポンプ自動車(CD-I型) を更新配備した。
3月27日		嵐山消防団(第1分団第3部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新 配備した。
4月1日		比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の 一部を改正する。消防団員の定数745名を755名に改めた。 (吉見消防団員定数を85名から95名に改めた。)
〃		吉見消防団に女性消防団員3名を採用する。

10月31日	ときがわ消防団（第2分団第1部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）を更新配備した。
12月13日	東秩父消防団に、消防団旗を更新した。
平成26年	
3月14日	嵐山消防団（第1分団第2部）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）を更新配備した。
3月18日	東松山消防団（第1分団）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）を更新配備した。
4月 1日	東松山消防団長に新井芳信氏が就任する。
〃	嵐山消防団長に田嶋健司氏が就任する。
〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数755名を725名に改めた。 （ときがわ消防団員定数を175名から145名に改めた。）
〃	比企広域市町村圏組合消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則の一部を改正する。 （小川消防団本部に団員8名を置き、分団各部の団員を11名に改め、東秩父消防団第2分団を4部体制から3部体制に改めた。）
12月11日	小川消防団（団本部）に、広報車（ホンダ ステップワゴン）を更新配備した。
平成27年	
1月26日	東松山消防団（第2分団）に、水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）を更新配備した。
2月21日	小川消防団第2分団第4部、小川町大字木部地内に機械器具置場を新築移転する。
2月23日	吉見消防団、消防庁消防団等地域活動表彰を受章する。
3月10日	ときがわ消防団（第1分団第2部）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新配備した。
3月13日	吉見消防団（第1分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新配備した。
3月19日	東秩父消防団（第1分団第3部）に、水槽車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
7月 1日	滑川消防団第2分団第1部、滑川町大字羽尾地内（旧滑川分署）に機械器具置場を移転する。
9月30日	小川消防団（第1分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新配備した。
10月13日	ときがわ消防団（第2分団第3部）に、消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を更新配備した。
平成28年	
1月21日	東松山消防団第4分団、東松山市大字下唐子地内に機械器具置場を新築移転する。
3月 9日	吉見消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
〃	東松山消防団、消防庁長官表彰竿頭綬を受章する。
4月 1日	小川消防団長に島野雄二氏が就任する。
〃	東秩父消防団長に高田吉広氏が就任する。
〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例

		の一部を改正する。消防団員の定数 725 名を 740 名に改めた。 (滑川消防団員定数を 55 名から 60 名、嵐山消防団員定数を 93 名から 100 名、小川消防団員定数を 127 名から 130 名に改めた。)
	〃	滑川消防団に女性消防団員 5 名を採用する。
	〃	嵐山消防団に女性消防団員 6 名を採用する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に吉見消防団長蓮見弘氏が就任する。
平成 29 年	12 月 13 日	東秩父消防団 (第 2 分団第 3 部) に、水槽車 (小型動力ポンプ積載) を更新 配備した。
	3 月 13 日	吉見消防団 (第 2 分団第 3 部) に、消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を更新 配備した。
	3 月 22 日	ときがわ消防団 (第 1 分団第 1 部) に、水槽付消防ポンプ自動車 (水 I-A 型) を更新配備した。
	4 月 1 日	小川消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員 2 名を採用する。
	〃	吉見消防団に女性消防団員 3 名を採用する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員 2 名を採用する。
平成 30 年		
	2 月 1 日	ときがわ消防団長に小澤伸吉氏が就任する。
	3 月 7 日	東秩父消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
	4 月 1 日	嵐山消防団長に千野晃男氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の 一部を改正する。消防団員の定数 740 名を 725 名に改めた。 (ときがわ消防団員定数を 145 名から 130 名に改めた。)
	〃	ときがわ消防団第 3 分団第 1 部と第 3 分団第 2 部を統合し第 3 分団とする。
	〃	滑川消防団に女性消防団員 3 名を採用する。
	〃	嵐山消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に東松山消防団長新井芳信氏が就任する。
	6 月 1 日	小川消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
平成 31 年		
	3 月 2 日	小川消防団 (第 2 分団第 4 部) に、消防庁無償貸付車両 (救助資機材搭載型 消防ポンプ自動車 CD-I 型) を更新配備した。
	3 月 6 日	滑川消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
	3 月 24 日	ときがわ消防団 (第 2 分団第 2 部) に、消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を 更新配備した。
	4 月 1 日	吉見消防団長に脇谷仁志氏が就任する。
	〃	嵐山消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
令和元年		
	10 月 10 日	嵐山消防団 (第 2 分団第 2 部) に、消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を更新 配備した。
	10 月 21 日	滑川消防団 (第 1 分団第 2 部) に、消防ポンプ自動車 (CD-I 型) を更新

		配備した。
令和2年		
	2月10日	東松山消防団、国土交通大臣水防功労章を受章する。
	2月29日	東秩父消防団（第2分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	3月4日	嵐山消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
	3月9日	東松山消防団、防災功労者消防庁長官表彰を受章する。
	〃	ときがわ消防団、防災功労者消防庁長官表彰を受章する。
	4月1日	小川消防団長に小山立司氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に馬場一裕氏が就任する。
	〃	嵐山消防団に女性消防団員2名を採用する。
	〃	小川消防団に女性消防団員3名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に滑川消防団長井上章氏が就任する。
	9月1日	東松山消防団、防災功労者内閣総理大臣表彰を受章する。
	〃	ときがわ消防団、防災功労者内閣総理大臣表彰を受章する。
	10月14日	小川消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	12月6日	小川消防団第1分団第4部、小川町大字上横田地内に機械器具置場を新築移転する。
令和3年		
	1月28日	滑川消防団（第1分団第1部）に、消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新配備した。
	4月1日	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する。消防団員の定数725名を770名に改めた。 （嵐山消防団員定数を100名から110名に改めた。） （吉見消防団員定数を95名から115名に改めた。） （ときがわ消防団員定数を130名から145名に改めた。）
	〃	嵐山消防団に女性消防団員1名を採用する。
	〃	吉見消防団に女性消防団員3名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員2名を採用する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員3名を採用する。
	〃	嵐山消防団、吉見消防団及びときがわ消防団は機能別消防団員制度を導入する。
令和4年		
	3月2日	小川消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
	3月6日	嵐山消防団、第1分団第3部、嵐山町大字鎌形地内に機械器具置場を新築移転する。
	〃	東秩父消防団（第2分団第3部）に、水槽車（小型動力ポンプ積載）を更新配備した。
	4月1日	滑川消防団長に小林紀夫氏が就任する。
	〃	ときがわ消防団長に馬場修平氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に豊田健氏が就任する。
	〃	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例

		の一部を改正する。消防団員の定数 770 名を 780 名に改めた。 (東秩父消防団員定数を 109 名から 119 名に改めた。)
	〃	東秩父消防団は機能別消防団員制度を導入する。
	〃	東松山消防団に女性消防団員 2 名を採用する。
	〃	小川消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に吉見消防団長脇谷仁志氏が就任する。
11月	1日	小川消防団(第1分団第4部)に、消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新 配備した。
令和5年		
3月	3日	ときがわ消防団、日本消防協会竿頭綬を受章する。
3月	10日	東松山消防団、消防庁長官表彰旗を受章する。
4月	1日	嵐山消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	東松山消防団長に新井進一氏が就任する。
5月	1日	吉見消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
6月	1日	吉見消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
9月	9日	東秩父消防団(第1分団第1部)に、小型動力ポンプ積載車を更新配備した。
10月	1日	東松山消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
令和6年		
2月	20日	東松山消防団(団本部)に、広報車(トヨタ ノア)を更新配備した。
4月	1日	比企広域市町村圏組合消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例 の一部を改正する。消防団員の定数 780 名を 774 名に改めた。 (ときがわ消防団員定数を 145 名から 139 名に改めた。)
	〃	小川消防団長に永島徹也氏が就任する。
	〃	ときがわ消防団長に池上俊幸氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に山崎一弘氏が就任する。
	〃	小川消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	ときがわ消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
	〃	埼玉県消防協会比企支部長に嵐山消防団長千野晃男氏が就任する。
令和7年		
1月	1日	小川消防団に女性消防団員 2 名を採用する。
4月	1日	東松山消防団長に江原幸夫氏が就任する。
	〃	東松山消防団に女性消防団員 1 名を採用する。
5月	1日	ときがわ消防団に女性消防団員 4 名を採用する。
令和8年		
4月	1日	吉見消防団長に加藤勝氏が就任する。
	〃	ときがわ消防団長に小峰宏之氏が就任する。
	〃	東秩父消防団長に山崎康生氏が就任する。
	〃	東秩父消防団に女性消防団員 2 名を採用する。

消 防 団 員 配 置 状 況

(令和8年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
東 松 山 消 防 団	団 本 部	1	2	1		1	2	7	合 計
	第 1 分 団			1		1	2	10	
	第 2 分 団			1		1	2	10	
	第 3 分 団			1		1	2	8	
	第 4 分 団			1		1	2	8	
	第 5 分 団			1		1	2	9	
	第 6 分 団			1		1	2	9	
	[1 0 1] 計	1	2	7	0	7	14	61	92
滑 川 消 防 団	団 本 部	1	2					5	合 計
	第 1 分団第 1 部			1	1	1	1	10	
	第 1 分団第 2 部					1	1	9	
	第 2 分団第 1 部			1	1	1	1	10	
	第 2 分団第 2 部					1	1	9	
	[6 0] 計	1	2	2	2	4	4	43	58
嵐 山 消 防 団	団 本 部	1	2			10		7	合 計
	機能別消防団員							9	
	第 1 分団第 1 部			1	2	1	2	12	
	第 1 分団第 2 部					1	2	12	
	第 1 分団第 3 部					1	2	10	
	第 2 分団第 1 部			1	1	1	2	12	
	第 2 分団第 2 部					1	2	11	
	[1 1 0] 計	1	2	2	3	15	10	73	106
小 川 消 防 団	団 本 部	1	2			1	1	8	合 計
	第 1 分団第 1 部			1	1	1	2	8	
	第 1 分団第 2 部					1	2	11	
	第 1 分団第 3 部					1	2	11	
	第 1 分団第 4 部					1	2	10	
	第 2 分団第 1 部			1	1	1	2	10	
	第 2 分団第 2 部					1	2	11	
	第 2 分団第 3 部					1	2	11	
	第 2 分団第 4 部					1	2	11	
	[1 3 0] 計	1	2	2	2	9	17	91	124

[]内は条例定員数を示す。

消 防 団 員 配 置 状 況

(令和8年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
吉 見 消 防 団	団 本 部	1	2	2	2	1	1	2	合 計
	機能別消防団員							13	
	第1分団第1部					1	2	8	
	第1分団第2部					1	2	7	
	第1分団第3部					1	2	10	
	第2分団第1部					1	2	8	
	第2分団第2部					1	2	10	
	第2分団第3部					1	2	10	
	[1 1 5] 計	1	2	2	2	7	13	68	95
と き が わ 消 防 団	団 本 部	1	2	1	2	4	1	8	合 計
	機能別消防団員							6	
	第1分団第1部			1	2	1	2	7	
	第1分団第2部					1	2	9	
	第1分団第3部					1	2	10	
	第2分団第1部			1	2	1	2	10	
	第2分団第2部					1	2	9	
	第2分団第3部					1	2	8	
	第 3 分 団			1	2	1	2	9	
	[1 3 9] 計	1	2	4	8	11	15	76	117
東 秩 父 消 防 団	団 本 部	1	2			3		5	合 計
	機能別消防団員							10	
	第1分団第1部			1	2	1	2	8	
	第1分団第2部					1	2	7	
	第1分団第3部					1	1	7	
	第2分団第1部			1	2	1	2	8	
	第2分団第2部					1	1	7	
	第2分団第3部					1	2	10	
	[1 1 9] 計	1	2	2	4	9	10	62	90
[7 7 4] 合 計		7	14	21	21	62	83	474	682

[]内は条例定員数を示す。

消 防 団 員 勤 続 年 数

(令和8年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
東 松 山 消 防 団	団 員 数	1	2	7	0	7	14	61	92
	5 年 未 満						1	27	28
	5 年 以 上 10 年 未 満							7	7
	10 年 以 上 15 年 未 満					2	3	19	24
	15 年 以 上 20 年 未 満					1	2	4	7
	20 年 以 上 25 年 未 満			2		1	6	4	13
	25 年 以 上 30 年 未 満			3		2	2		7
	30 年 以 上	1	2	2		1			6
	平 均 勤 続	42.0	33.5	27.9	0.0	23.0	18.7	6.7	12.3
滑 川 消 防 団	団 員 数	1	2	2	2	4	4	43	58
	5 年 未 満							11	11
	5 年 以 上 10 年 未 満							14	14
	10 年 以 上 15 年 未 満							12	12
	15 年 以 上 20 年 未 満				1	2	4	6	13
	20 年 以 上 25 年 未 満			1	1	2			4
	25 年 以 上 30 年 未 満								0
	30 年 以 上	1	2	1					4
	平 均 勤 続	35.0	32.0	26.0	19.0	18.8	17.0	8.6	12.1
嵐 山 消 防 団	団 員 数	1	2	2	3	15	10	64	97
	5 年 未 満							17	17
	5 年 以 上 10 年 未 満						5	19	24
	10 年 以 上 15 年 未 満					4	4	9	17
	15 年 以 上 20 年 未 満				3	9	1	9	22
	20 年 以 上 25 年 未 満		1	2		1		8	12
	25 年 以 上 30 年 未 満		1			1		2	4
	30 年 以 上	1							1
	平 均 勤 続	30.0	23.0	20.5	19.3	15.0	10.3	9.4	11.4
小 川 消 防 団	団 員 数	1	2	2	2	9	17	91	124
	5 年 未 満							32	32
	5 年 以 上 10 年 未 満					1	2	25	28
	10 年 以 上 15 年 未 満					3	4	21	28
	15 年 以 上 20 年 未 満			1	1	3	9	8	22
	20 年 以 上 25 年 未 満		1			1	2	2	6
	25 年 以 上 30 年 未 満				1	1		3	5
	30 年 以 上	1	1	1					3
	平 均 勤 続	40.0	27.0	23.5	22.0	15.8	15.1	3.6	7.3

※機能別団員は人数に含まない。

消 防 団 員 勤 続 年 数

(令和8年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
吉 見 消 防 団	団 員 数	1	2	2	2	7	13	55	82
	5 年 未 満							27	27
	5 年 以 上 10 年 未 満							17	17
	10 年 以 上 15 年 未 満					1	6	8	15
	15 年 以 上 20 年 未 満				1	5	7	2	15
	20 年 以 上 25 年 未 満			2	1	1		1	5
	25 年 以 上 30 年 未 満	1	2						3
	30 年 以 上								0
	平 均 勤 続	25.0	24.0	20.5	21.5	17.1	14.2	5.6	9.4
と き が わ 消 防 団	団 員 数	1	2	4	8	11	15	70	111
	5 年 未 満							31	31
	5 年 以 上 10 年 未 満						2	30	32
	10 年 以 上 15 年 未 満					3	9	9	21
	15 年 以 上 20 年 未 満			1	3	7	4		15
	20 年 以 上 25 年 未 満			3	5	1			9
	25 年 以 上 30 年 未 満	1	2						3
	30 年 以 上								0
	平 均 勤 続	26.0	26.5	21.5	18.6	18.0	11.6	4.8	9.2
東 秩 父 消 防 団	団 員 数	1	2	2	4	9	10	52	80
	5 年 未 満							15	15
	5 年 以 上 10 年 未 満							17	17
	10 年 以 上 15 年 未 満			1	1	5	7	14	28
	15 年 以 上 20 年 未 満			1	1	1	2	3	8
	20 年 以 上 25 年 未 満		2		2	1	1	3	9
	25 年 以 上 30 年 未 満	1				2			3
	30 年 以 上								0
	平 均 勤 続	26.0	21.0	20.0	15.5	19.2	12.2	9.2	11.8
合 計	団 員 数	7	14	21	21	62	83	436	644
	平 均 勤 続	32.0	26.7	23.9	18.8	17.6	14.1	6.5	10.2

※機能別団員は人数に含まない。

消 防 団 員 の 年 齢

(令和8年4月1日現在)

階級別 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 歳							1	1
19 歳							4	4
20 歳							1	1
21 歳							6	6
22 歳							8	8
23 歳							4	4
24 歳						1	14	15
25 歳							7	7
26 歳					1		13	14
27 歳						1	12	13
28 歳							16	16
29 歳							9	9
30 歳							20	20
31 歳							24	24
32 歳						4	18	22
33 歳						2	18	20
34 歳					1	4	15	20
35 歳						4	18	22
36 歳						1	21	22
37 歳				1	3	7	26	37
38 歳					3	3	18	24
39 歳					3	6	14	23
40 歳			1	4	2	5	20	32
41 歳				1	6	2	16	25
42 歳					4	4	9	17
43 歳				1	6	7	14	28
44 歳			1	2	7	4	11	25
45 歳			2		3	2	10	17
46 歳		1		5	3	7	5	21
47 歳			3	2	5	2	9	21
48 歳			3	1	4	4	11	23
49 歳		1		1	1	5	8	16
50 歳	1	1	3	1	1	2	5	14
51 歳	1	1		2	2	2	6	14
52 歳	1	2	3				6	12
53 歳			1		3	1	6	11
54 歳		1					3	4
55 歳		1					2	3
56 歳		3			2			5
57 歳	1				1	3		5
58 歳		1	2				1	4
59 歳	1						1	2
60 歳以上	2	2	2		1		6	13
合 計	7	14	21	21	62	83	436	644
平均年齢	57.0	51.2	50.6	44.9	44.4	41.7	36.4	39.1

※機能別団員は人数に含まない。

消 防 団 員 年 齢 構 成

(令和8年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
東 松 山 消 防 団	20 歳 未 満							1	1
	20歳以上25歳未満							3	3
	25歳以上30歳未満								0
	30歳以上35歳未満						1	4	5
	35歳以上40歳未満						1	6	7
	40歳以上45歳未満					1	2	15	18
	45歳以上50歳未満			2		3	5	12	22
	50歳以上55歳未満			2			4	13	19
	55歳以上60歳未満			2		2	1	4	9
	60 歳 以 上	1	2	1		1		3	8
	計	1	2	7	0	7	14	61	92
	平 均 年 齢	68.0	64.0	56.3	0.0	51.4	48.0	44.5	47.1
滑 川 消 防 団	20 歳 未 満								0
	20歳以上25歳未満							4	4
	25歳以上30歳未満							9	9
	30歳以上35歳未満							9	9
	35歳以上40歳未満					1		14	15
	40歳以上45歳未満					3	2	6	11
	45歳以上50歳未満			1	2		2		5
	50歳以上55歳未満			1				1	2
	55歳以上60歳未満	1	2						3
	60 歳 以 上								0
	計	1	2	2	2	4	4	43	58
	平 均 年 齢	59.0	55.5	50.0	47.5	41.0	45.3	33.3	36.9
嵐 山 消 防 団	20 歳 未 満							1	1
	20歳以上25歳未満						1	3	4
	25歳以上30歳未満							10	10
	30歳以上35歳未満					1	2	5	8
	35歳以上40歳未満					3	5	11	19
	40歳以上45歳未満				1	7	2	14	24
	45歳以上50歳未満				1	1		13	15
	50歳以上55歳未満		2	2	1	2		7	14
	55歳以上60歳未満	1				1			2
	60 歳 以 上								0
	計	1	2	2	3	15	10	64	97
	平 均 年 齢	57.0	53.0	51.0	46.0	43.1	35.5	38.7	40.0
小 川 消 防 団	20 歳 未 満							1	1
	20歳以上25歳未満							8	8
	25歳以上30歳未満					1		9	10
	30歳以上35歳未満						1	22	23
	35歳以上40歳未満					1	4	30	35
	40歳以上45歳未満			1	1	1	6	7	16
	45歳以上50歳未満					4	3	6	13
	50歳以上55歳未満			1	1	2	2	5	11
	55歳以上60歳未満		2				1		3
	60 歳 以 上	1						3	4
	計	1	2	2	2	9	17	91	124
	平 均 年 齢	62.0	56.0	46.0	45.0	43.7	42.5	35.5	37.9

※機能別団員は人数に含まない。

消 防 団 員 年 齢 構 成

(令和8年4月1日現在)

階級別 団別		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
吉 見 消 防 団	20 歳 未 満								0
	20歳以上25歳未満							8	8
	25歳以上30歳未満							7	7
	30歳以上35歳未満							13	13
	35歳以上40歳未満							14	14
	40歳以上45歳未満		1			1	4	9	15
	45歳以上50歳未満		1	1	2	4	3	4	15
	50歳以上55歳未満	1		1		2	6		10
	55歳以上60歳未満								0
	60 歳 以 上								0
	計	1	2	2	2	7	13	55	82
	平 均 年 齢	52.0	50.5	46.0	47.0	43.7	42.4	33.8	37.2
と き が わ 消 防 団	20 歳 未 満							1	1
	20歳以上25歳未満							6	6
	25歳以上30歳未満						1	14	15
	30歳以上35歳未満						4	27	31
	35歳以上40歳未満					3	3	13	19
	40歳以上45歳未満				3	4	5	6	18
	45歳以上50歳未満		1	4	4	4	2	3	18
	50歳以上55歳未満	1	1		1				3
	55歳以上60歳未満								0
	60 歳 以 上								0
	計	1	2	4	8	11	15	70	111
	平 均 年 齢	51.0	48.0	46.8	45.1	42.8	38.4	33.8	37.0
東 秩 父 消 防 団	20 歳 未 満								0
	20歳以上25歳未満							2	2
	25歳以上30歳未満							7	7
	30歳以上35歳未満							14	14
	35歳以上40歳未満				1		5	10	16
	40歳以上45歳未満			1	3	5	3	13	25
	45歳以上50歳未満					2	2	4	8
	50歳以上55歳未満	1	1	1		2		2	7
	55歳以上60歳未満		1						1
	60 歳 以 上								0
	計	1	2	2	4	9	10	52	80
	平 均 年 齢	50.0	54.5	47.5	41.0	45.7	40.3	46.5	45.7

※機能別団員は人数に含まない。

基 本 消 防 団 員 と 機 能 別 消 防 団 員 の 定 数 と 実 数

(令和8年4月1日現在)

	定 数			実 数		
	基本消防団員	機能別消防団員	計	基本消防団員	機能別消防団員	計
東 松 山 消 防 団	101		101	(9) 92		92
滑 川 消 防 団	60		60	(5) 58		58
嵐 山 消 防 団	100	10	110	(9) 97	9	106
小 川 消 防 団	130		130	(12) 124		124
吉 見 消 防 団	95	20	115	(4) 82	13	95
と き が わ 消 防 団	124	15	139	(9) 111	6	117
東 秩 父 消 防 団	109	10	119	(5) 80	10	90
合 計	719	55	774	(53) 644	38	682

()内は、女性消防団員数を示す。

消 防 団 車 庫 所 在 地

(令和8年4月1日現在)

区 分		所 在 地	建 築 年 月	面積(㎡)	構 造	
東 松 山 消 防 団	団 本 部	東松山市大字上野本1300-1	東松山消防署内			
	第 1 分 団	東松山市大字松山2560-1	平23. 3	97. 33	鉄骨造	1階建
	第 2 分 団	東松山市箭弓町2-5-2	平10. 11	96. 74	鉄骨造	2階建
	第 3 分 団	東松山市大字大谷3401	平14. 10	99. 89	鉄骨造	2階建
	第 4 分 団	東松山市大字下唐子1605-2	平28. 1	98. 81	鉄骨造	2階建
	第 5 分 団	東松山市大字高坂2丁目14-16	平24. 1	98. 62	鉄骨造	2階建
	第 6 分 団	東松山市大字下野本626-4	平21. 11	102. 64	鉄骨造	1階建
滑 川 消 防 団	第 1 分団第 1 部	滑川町大字福田1613-5	平14. 3	86. 70	鉄筋コンクリート造	1階建
	第 1 分団第 2 部	滑川町大字福田836-3	昭46. 5	76. 00	コンクリートブロック造	1階建
	第 2 分団第 1 部	滑川町大字羽尾2791-1	昭50. 1	391. 84	鉄筋コンクリート造	2階建
	第 2 分団第 2 部	滑川町大字月輪1522-58	平20. 10	89. 61	鉄骨造	1階建
嵐 山 消 防 団	第 1 分団第 1 部	嵐山町大字菅谷450-1	平24. 1	83. 63	木造一部鉄骨造	1階建
	第 1 分団第 2 部	嵐山町大字志賀926-1	平 6. 11	86. 00	鉄骨造	1階建
	第 1 分団第 3 部	嵐山町大字鎌形245-3	令 4. 3	81. 00	木造	1階建
	第 2 分団第 1 部	嵐山町大字越畑672-6	平 2. 2	68. 40	鉄骨造	1階建
	第 2 分団第 2 部	嵐山町大字古里428-3	平 9. 5	142. 50	鉄骨造	1階建
小 川 消 防 団	団 本 部	小川町大字上横田1247-2	小川消防署内			
	第 1 分団第 1 部	小川町大字小川216-7	昭59. 9	65. 59	鉄骨造	2階建
	第 1 分団第 2 部	小川町大字大塚140-1	昭53. 9	74. 24	鉄骨造	2階建
	第 1 分団第 3 部	小川町大字大塚1195-1	平 3. 3	60. 75	鉄骨造	2階建
	第 1 分団第 4 部	小川町大字上横田1935-3	令 2. 12	66. 33	鉄骨造	1階建
	第 2 分団第 1 部	小川町大字増尾25-3	平 2. 1	76. 30	鉄骨造	2階建
	第 2 分団第 2 部	小川町大字腰越181-2	昭62. 12	66. 57	木造	1階建
	第 2 分団第 3 部	小川町大字青山1437-7	平22. 3	66. 24	鉄骨造	1階建
	第 2 分団第 4 部	小川町大字木部26-19	平27. 2	66. 33	鉄骨造	1階建

消 防 団 車 庫 所 在 地

(令和8年4月1日現在)

区 分		所 在 地	建 築 年 月	面 積 (㎡)	構 造	
吉見消防団	第1分団第1部	吉見町東野4-22-4	平 8. 3	69.56	木造	2階建
	第1分団第2部	吉見町大字久保田931-1	平 5. 1	66.24	木造	2階建
	第1分団第3部	吉見町大字江和井787-2	平 6. 3	67.00	木造	2階建
	第2分団第1部	吉見町大字長谷335-1	昭63. 3	66.24	木造	2階建
	第2分団第2部	吉見町大字地頭方464	平 7. 3	66.24	木造	2階建
	第2分団第3部	吉見町大字和名811	平 4. 3	66.24	木造	2階建
ときがわ消防団	団 本 部	ときがわ町大字桃木32	昭63.11	331.75	鉄骨木造	2階建
	第1分団第1部	ときがわ町大字玉川1431-1	平10.12	94.45	木造	2階建
	第1分団第2部	ときがわ町大字玉川4794-4	平15. 2	93.26	木造	2階建
	第1分団第3部	ときがわ町大字五明691-3	平16.10	94.00	木造	2階建
	第2分団第1部	ときがわ町大字番匠629-1	平 7.11	77.30	木造	2階建
	第2分団第2部	ときがわ町大字本郷840-1	平10. 3	77.00	木造	2階建
	第2分団第3部	ときがわ町大字瀬戸元下463-3	平19.11	94.32	木造	2階建
	第 3 分 団	ときがわ町大字西平727-1	平 3. 3	94.00	木造	2階建
東秩父消防団	第1分団第1部	東秩父村大字安戸627-5	平 2. 3	76.12	木造モルタル	2階建
		東秩父村大字安戸880-4	平 4.12	39.60	木造モルタル	2階建
	第1分団第2部	東秩父村大字御堂103-6	昭55.12	62.10	木造モルタル	2階建
		東秩父村大字御堂1143-8	昭55.12	47.85	木造モルタル	2階建
	第1分団第3部	東秩父村大字奥沢203-1	昭55.12	62.10	木造モルタル	2階建
	第2分団第1部	東秩父村大字坂本1306-3	昭49. 5	65.60	木造	2階建
	第2分団第2部	東秩父村大字大内沢768	昭58. 8	64.23	木造モルタル	2階建
	第2分団第3部	東秩父村大字皆谷85-3	昭63. 5	67.67	木造モルタル	2階建
		東秩父村大字白石853-1	平 4. 2	57.75	木造モルタル	1階建

消防団保有車両一覧表

(令和8年4月1日現在)

区 分		No.	名 称	ｼﾝｼﾞﾎﾞﾝﾌﾞ等	登録ナンバー	初年度登録	備 考
東松山消防団	団本部	1	本部広報車	トヨタ・ノア	熊谷830 そ2402	R 6. 1	広報装置
	1分団	2	水槽付消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す4869	H26. 2	水Ⅰ-A型・水槽(1.5t)・軽車
	2分団	3	水槽付消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す5302	H27. 1	水Ⅰ-A型・水槽(1.5t)・軽車
	3分団	4	消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す4263	H25. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
	4分団	5	消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す3708	H24. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
	5分団	6	消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す3710	H24. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
	6分団	7	消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す4264	H25. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
滑川消防団	1分団	1部	8 消防ポンプ車	トヨタ・モリタA-2	熊谷831 ね 11	R 3. 1	CD-Ⅰ型(3.5t未満車両)・軽車
		2部	9 消防ポンプ車	トヨタ・モリタA-2	熊谷830 ぬ 12	R 1.10	CD-Ⅰ型(3.5t未満車両)・軽車
	2分団	1部	10 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す4072	H24.10	CD-Ⅰ型(可搬積)・軽車
		2部	11 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す1883	H20. 9	CD-Ⅰ型(可搬積)
嵐山消防団	1分団	1部	12 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す1212	H19.10	CD-Ⅰ型・水槽(0.9t)・軽車
		2部	13 水槽付消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷830 さ2603	H26. 2	水Ⅰ-A型・水槽(1.5t)
		3部	14 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 ひ 7	H25. 3	CD-Ⅰ型4WD(可搬積)・軽車
	2分団	1部	15 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す2546	H21.10	CD-Ⅰ型・水槽(0.9t)
		2部	16 消防ポンプ車	トヨタ・モリタA-2	熊谷831 る 119	R 1.10	CD-Ⅰ型(3.5t未満車両)
小川消防団	団本部	17	本部広報車	ホンダ・ステップワゴン	熊谷800 す5236	H26.11	広報装置
	1分団	1部	18 消防ポンプ車	日 野・GM A-2	熊谷831 と 11	R 2. 9	CD-Ⅰ型(可搬積)
		2部	19 水槽付消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す2748	H22. 2	水Ⅰ-A型・水槽(1.5t)
		3部	20 消防ポンプ車	いすゞ・モリタA-2	熊谷830 そ1003	H27. 9	CD-Ⅰ型4WD(可搬積)
		4部	21 消防ポンプ車	日 野・ナカムラA-2	熊谷830 ぬ 14	R 4.10	CD-Ⅰ型(可搬積)
	2分団	1部	22 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷831 み 119	H25. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
		2部	23 水槽付消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す2586	H21.11	水Ⅰ-A型・水槽(1.5t)
		3部	24 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す1213	H19.10	CD-Ⅰ型4WD(可搬積)
		4部	25 消防ポンプ車	いすゞ・モリタA-2	熊谷830 ぬ 24	H31. 2	CD-Ⅰ型4WD(救助資機材搭載型車両)
吉見消防団	1分団	1部	26 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す2547	H21.10	CD-Ⅰ型4WD・軽車
		2部	27 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す3709	H24. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
		3部	28 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷830 せ 103	H27. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
	2分団	1部	29 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す3087	H22.10	CD-Ⅰ型4WD・軽車
		2部	30 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷830 そ 202	H25. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
		3部	31 消防ポンプ車	日 野・GM A-2	熊谷830 て 23	H29. 2	CD-Ⅰ型4WD・軽車
ときがわ消防団	団本部	32	本部広報車	トヨタ・ノア	熊谷800 す2461	H21. 8	広報装置
	1分団	1部	33 水槽付消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷803 ふ 1	H29. 2	水Ⅰ-A型・水槽(1.5t)・軽車
		2部	34 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷830 た 102	H27. 2	CD-Ⅰ型(可搬積)・軽車
		3部	35 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す4239	H25. 2	CD-Ⅰ型(可搬積)・軽車
	2分団	1部	36 水槽付消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷831 む 119	H25.10	水Ⅰ-A型・水槽(1.5t)・軽車
		2部	37 消防ポンプ車	日 野・GM A-2	熊谷830 ね 22	H31. 3	CD-Ⅰ型(可搬積)・軽車
		3部	38 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷830 そ 203	H27. 9	CD-Ⅰ型(可搬積)・軽車
	3分団	39	消防ポンプ車	日 野・GM A-2	熊谷800 す1907	H20.10	CD-Ⅰ型4WD(可搬積)
東秩父消防団	1分団	1部	40 水槽付消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷830 さ8210	H21. 1	水Ⅰ-A型・水槽(1.5t)
		1部	41 小型動力ポンプ積載車	スズキ・シバウラB-2	熊谷883 き 11	R 5. 8	小型動力ポンプ
		2部	42 消防ポンプ車	日 野・モリタA-2	熊谷800 す1906	H20.10	CD-Ⅰ型4WD
		2部	43 小型動力ポンプ積載車	いすゞ・シバウラB-3	熊谷800 さ9376	H17. 9	小型動力ポンプ
		3部	44 水槽車	いすゞ・シバウラB-2	熊谷831 や 119	H27. 2	水槽(2.5t)・小型動力ポンプ・高圧ポンプ
	2分団	1部	45 消防ポンプ車	日 野・GM A-2	熊谷830 の 21	R 2. 2	CD-Ⅰ型4WD(可搬積)
		2部	46 小型動力ポンプ積載車	日 産・マキB-2	熊谷800 す2792	H22. 3	救助資機材搭載車・小型動力ポンプ
		3部	47 水槽車	いすゞ・シバウラB-2	熊谷830 つ 23	H28.11	水槽(2.5t)・小型動力ポンプ・高圧ポンプ
		3部	48 水槽車	日 野・シバウラB-2	熊谷830 は 23	R 4. 2	水槽(2t)・小型動力ポンプ・高圧ポンプ

消 防 年 報

発 行	令和 8 年度刊行
編 集	令和 8 年 8 月 1 日
	比企広域消防本部
	東松山市大字上野本1300-1
	TEL 0493-23-2266
	FAX 0493-22-3905

